



# NVR-204

## 操作説明書

作成：2012/05/15

更新：2015/02/13



## NVR204 操作説明書

### 改訂履歴

2012/05/15 初版作成  
2012/11/07 テキスト修正  
2013/06/26 テキスト修正  
2013/11/05 FW Ver.1.3.2.64630 リリースに合わせて修正  
2014/03/20 FW Ver1.3.8.68494 リリースに合わせて修正  
2014/05/01 テキスト修正  
2015/02/13 テキスト修正

## 目 次

はじめに .....	7
保証の制限.....	7
注意.....	8
制限事項 .....	9
本製品と付属品一覧 .....	11
本製品のセットアップ.....	12
1-1 本製品の起動 .....	12
1-2 本製品の停止 .....	12
1-3 パネル機能.....	13
1-4 本製品管理画面へのアクセス手順.....	14
1-5 本製品の検出 .....	14
1-6 本製品へのログイン .....	15
A 操作編 .....	16
1 ライブ閲覧.....	16
1-1 ライブ表示.....	16
1-2 カメラコントロール操作.....	17
1-3 シーケンス .....	19
1-4 PTZ 操作.....	20
1-5 プリセット移動・オートパン .....	22
1-5-1 プリセット移動.....	22
1-5-2 オートパン .....	23
1-5-3 プリセットツアー .....	23
2 マップモニター.....	24
2-1 ローカルマップモニター .....	24
2-2 Google マップモニター .....	25
3 カメラステータス .....	26
4 録画再生.....	28
4-1 タイムチャート検索 .....	29
4-2 特定時間で再生.....	30
4-3 イベントによる再生 .....	31
4-4 最新のイベントによる再生 .....	32
4-5 録画再生コントロールパネル.....	33
4-6 AVI/JPEG ファイル出力 .....	34
4-6-1 AVI ファイル出力 .....	34

4-6-2 JPEG ファイル出力 .....	35
4-6-3 AVI/JPEG ファイル出力時の注意点 .....	35
<b>B 設定編</b> .....	<b>36</b>
<b>1 システム設定</b> .....	<b>36</b>
1-1 管理画面の表示 .....	36
1-2 言語の切り替え .....	37
1-3 設定画面 .....	38
1-4 ネットワーク設定 .....	39
1-4-1 ネットワーク設定 .....	39
1-4-2 DHCP サーバ .....	40
1-5 DDNS サービスの設定 .....	41
1-6 日時の設定 .....	42
1-7 ユーザーアカウント設定 .....	43
1-7-1 ユーザーの追加 .....	43
1-7-2 ユーザの編集 .....	44
1-7-3 ユーザの削除 .....	45
1-8 グループ権限の設定 .....	46
1-9 ディスク設定 .....	47
<b>2 チャンネル構成</b> .....	<b>48</b>
2-1 チャンネル設定 .....	48
2-1-1 カメラの登録 .....	48
2-1-2 カメラの編集 .....	50
2-1-3 カメラの削除 .....	51
2-2 OSD(オンスクリーン表示)設定 .....	52
<b>3 PTZ 設定</b> .....	<b>54</b>
3-1 PTZ プリセット .....	54
3-1-1 プリセットの登録 .....	55
3-1-2 プリセットの変更 .....	56
3-1-3 プリセットの削除 .....	56
3-1-4 「カメラと同期」による登録 .....	57
3-1-5 ホームポジション、イベント発生時プリセットポジションの設定 .....	57
3-2 PTZ ツアー .....	58
<b>4 E-マップモニター</b> .....	<b>59</b>
4-1 ローカルマップ設定 .....	59
4-1-1 マップ画像の変更 .....	60
4-1-2 カメラアイコンの配置 .....	61

4-1-3	サブマップの追加	62
4-1-4	サブマップの削除	63
4-2	Google Map 設定	64
4-2-1	カメラ設置場所の地図検索	65
5	イベント構成	66
5-1	一般設定	66
5-2	デジタル入力設定	68
5-3	イベントサーバ	69
5-3-1	FTP サーバ	69
5-3-2	SMTP サーバ	70
5-4	イベントトリガー	72
5-4-1	カメラトリガー発生要因 (①)	72
5-4-2	NVR トリガー発生要因 (②)	72
5-4-3	トリガーアクション (③)	73
5-4-4	適用 (④)	74
6	録画設定	75
6-1	一般設定	75
6-1-1	録画バッファ (①)	76
6-1-2	録画フレームレート (②)	76
6-1-3	ハードディスク領域の再利用 (③)	76
6-1-4	画像保存制限 (④)	76
6-1-5	カメラ録画設定 (⑤)	76
6-1-6	録音 (⑥)	77
6-1-7	適用 (⑦)	77
6-2	スケジュール録画設定	78
7	システムオプション	80
7-1	機器情報	80
7-2	システムログ	81
7-2-1	システムログ閲覧	82
7-2-2	システムログのエクスポート	83
7-3	メンテナンス	84
7-3-1	NVR 再起動	84
7-3-2	カメラの再起動	84
7-3-3	NVR ファームウェアのアップグレード	84
7-3-4	NVR の設定ファイルをバックアップ	84
7-3-5	NVR の修復	85

7-3-6 工場出荷時の状態にリセット .....	85
7-3-7 NVR のウェブ UI のロゴを変更 .....	85
7-4 ディスクステータス .....	87
7-5 USB 接続バックアップ .....	88
7-6 NVR Media Player の使用方法 .....	89
付録.....	91
製品仕様.....	91
Axis241Q ビデオサーバのイベント録画手順 .....	92
スマートフォンによる閲覧.....	95
スマートフォン閲覧の基本仕様 .....	96
iGuardNVRViewer の使用方法 .....	97
1 NVR 登録.....	97
2 ライブ画面機能、録画再生 .....	99

## はじめに

本製品をご購入いただき、ありがとうございます。本ユーザマニュアルでは、本製品の取り扱い、並びに使用方法を説明します。

- (1) 本書に記載されているすべての機能、仕様、特長その他は予告なしに変更されることがあります。
- (2) 記載されているすべてのブランド名および製品名は各社の登録商標です。
- (3) 説明書内の画面イメージが実際と違う部分があります。基本機能は変わりませんのでご了承ください。

## 保証の制限

- (1) いかなる場合も、株式会社システム・ケイ(以下弊社)は直接、間接を問わず製品に対して支払われた価格を超えて責任を負うことはありません。
- (2) 弊社は本製品および付随するすべてのソフトウェアおよびドキュメントの内容や使用に関して明示的または黙示的または法的に保証するものではなく、またその品質、性能、使用目的への適合性を保証するものではありません。
- (3) 弊社は本製品の顧客へ事前の予告なしに製品、ソフトウェア、またはマニュアルを改訂または更新する権利を留保します。
- (4) 本マニュアルの記載を守らないことにより生じた損害に関しては、弊社は一切責任を負いません。また弊社は予告なく製品やマニュアルの記載内容に対して変更・修正を行うことがあり、将来にわたるいかなる約束を表明するものではありません。
- (5) 弊社は製品およびソフトウェアの使用の結果に生じた、偶発的な損害および間接的な損害、またこれらに付随する事業上の利益の損失、データの喪失、その他使用に起因して生じたいかなる損害に対しても責任を負いません。
- (6) 弊社はこのマニュアルに含まれる記述、製品の商業価値および製品の特定用途に対する適合性について、明示的また黙示的な保証を一切致しません。

## 注意

- (1) データの毀損を回避するために、定期的なシステムのバックアップを強く推奨します。弊社はいかなる種類の、データの毀損に関して責任を負いません。  
本製品の修理のために返品する場合、電子機器の郵送として不適切な梱包による損傷は保証対象外となります。

### (2) [安全に関する警告]

- ① 本製品の動作温度、相対湿度を守って下さい。
- ② 本製品には正しい供給電圧(AC100~200V)を提供する必要があります。
- ③ 本製品を直射日光にさらしたり、化学物質・液体の傍に設置したりしないでください。  
本製品を清掃する場合は、電源コードと接続されているすべてのケーブルを抜いてください。
- ④ 化学薬品やエアゾールで本製品をクリーニングしないでください。
- ⑤ 本製品の上に物を置かないでください。
- ⑥ ハードディスクを取り付ける際は、本書に基づき本体ハードディスク・スロットにしっかり留めてください。
- ⑦ ハードディスクは停電など、突然電源を断たれると故障する可能性がございますので、UPS（無停電電源装置）の使用を推奨いたします。
- ⑧ 本製品を不安定な物の上に設置しないでください。落下した場合、本体を毀損する場合があります。
- ⑨ 本製品を使用する場合、電圧が正しいことを確認してください。不明な場合は、管轄の電力会社にお問い合わせください。
- ⑩ 本製品電源コードの上に物を置かないでください。断線の原因となります。
- ⑪ いかなる場合でも、本製品を自分で修理することはおやめください。製品を不適切に分解すると、感電その他の危険にさらされます。また製品保証の対象外となります。

### (3)[VCCI-A 規格]

この装置はクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

## 制限事項

### (1)ディスプレイ操作時

NVR にディスプレイを接続して操作を行う場合は、ライブ表示やライブシーケンス操作で正常に動作しない場合がありますので、各チャンネルの通信量が **2Mbps(2048kbps)**以上になる様に設定してください。各チャンネルの通信量は以下の画面で確認頂けます。

#### ●ディスプレイ操作時

- ・チャンネル状態の表示画面を表示する
- ・チャンネルステータスの各チャンネルのビットレート欄を確認する

#### ●ブラウザ操作時

- ・カメラステータス画面
- ・各チャンネルのビットレート欄を確認する

### (2)操作全体

NVR で同時に処理が可能な総データ量は **32Mbps** となります。このため、1チャンネルあたりのデータ量は最大で **5Mbps** になる様に設定してください。この **32Mbps** の対象となるデータ通信は以下の操作・処理となります。

- ・NVR がカメラから受信する映像データ
- ・NVR がブラウザへ送信するライブ映像のデータ
- ・NVR がブラウザへ送信する録画映像のデータ
- ・NVR がスマートフォンへ送信する映像(ライブまたは録画映像)のデータ
- ・ディスプレイ操作で表示する映像の(ライブまたは録画映像)のデータ
- ・統合管理ソフト(CMS)で表示する映像(ライブまたは録画映像)のデータ

同時に複数のパソコンからライブ映像や録画映像を表示する環境では、1チャンネルあたりのデータ量を下げないようにしてください。1チャンネルあたりのデータ量を下げ的方法には、以下の方法があります。

- ・フレームレートを下げる
- ・解像度を下げる
- ・配信フォーマットを MotionJPEG から H.264 や MPEG-4 に変更する
- ・配信フォーマットが H.264 や MPEG-4 の場合、ビットレートモードを CBR に設定し、上限ビットレートを下げる

(3) プリアラームについて

NVR-204 の 1.3.8.68494 では特定の条件下でプリアラームバッファ機能を利用すると NVR が高負荷になる問題が確認されております。

[録画設定]-[一般設定]-[録画バッファ]の[プリアラームバッファ]は 0 秒でご利用下さい。

(工場出荷時の状態では 0 秒に設定されています。)

この問題は次期ファームウェアで改修予定です。

## 本製品と付属品一覧

- ・ 本製品(ディスプレイ直結時用リモコン含む)



- ・ イーサネットケーブル



- ・ 電源コード・ACアダプタ



- ・ CD-ROM



添付ソフト&マニュアル

- ・ Adobe Acrobat Reader
- ・ クイックインストールガイド
- ・ ユーザマニュアル、その他資料
- ・ 統合管理ソフトウェア
- ・ NVR サーチ(検出)ソフトウェア
- ・ トラブルシューティング
- ・ NVR かんたん操作ガイド
- ・ 保証書

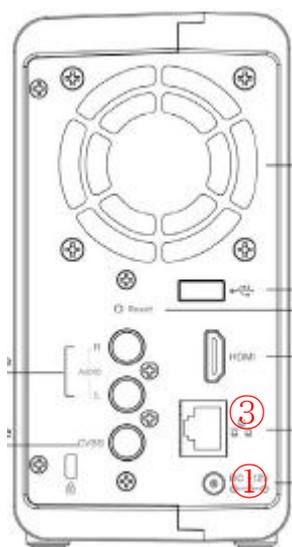
## 本製品のセットアップ

### 1-1 本製品の起動

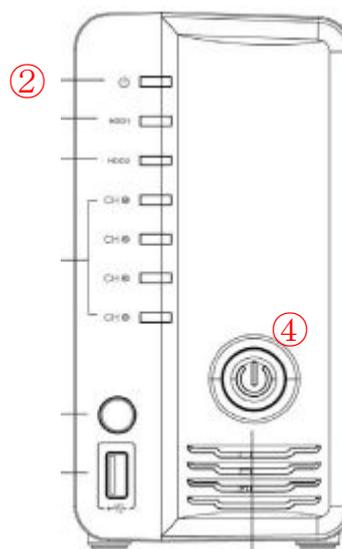
- (1) AC アダプタを本体背面の電源コネクタ①に接続します。電源ケーブルをコンセントに接続すると POWER ランプ②が赤色で点灯します。
- (2) 本体背面の LAN ポート③にイーサネットケーブルを差込み、ネットワークに接続します。
- (3) ネットワークに接続した後、本体前面の電源ボタン④を 1 度押すと、約 70 秒で NVR が起動します。電源ボタンを押すと最初に POWER ランプが緑色に点灯し、その後 50 秒前後で HDD ランプと CH ランプが点灯します。

※HDD ランプは HDD を搭載しフォーマット済みの場合のみ点灯します。

※各 CH ランプはカメラを登録している場合のみ点灯します。



背面パネル



前面パネル

### 1-2 本製品の停止

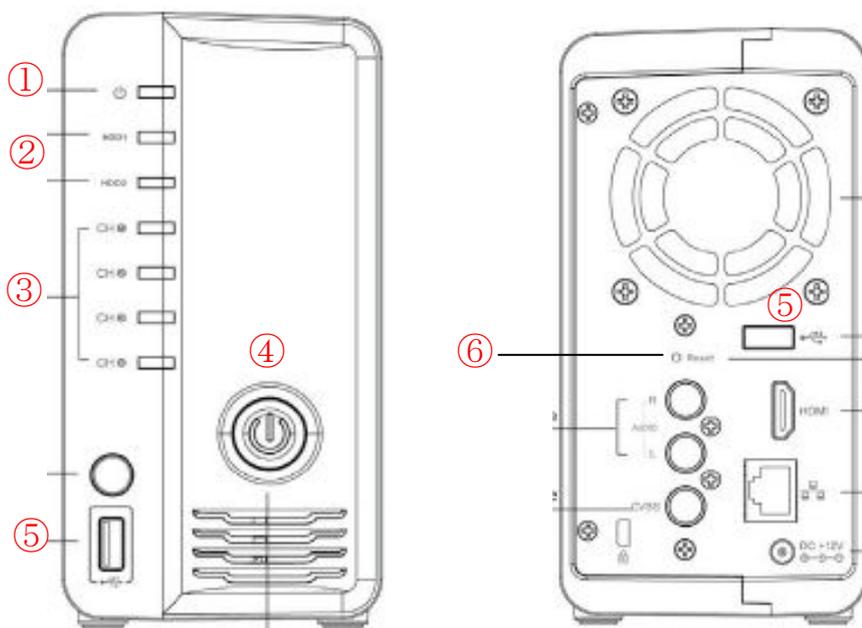
- (1) 本体前面の電源ボタン④を二度連続して押すと、約 30 秒で NVR が停止します。  
NVR が停止すると POWER ランプが赤色で点灯します。

※ 停電等で NVR が停止した場合は、電源が復旧した時に自動で起動します。

※ NVR を停止した場合は、「1-1 本製品の起動」の(3)の手順で起動する必要があります。

### 1-3 パネル機能

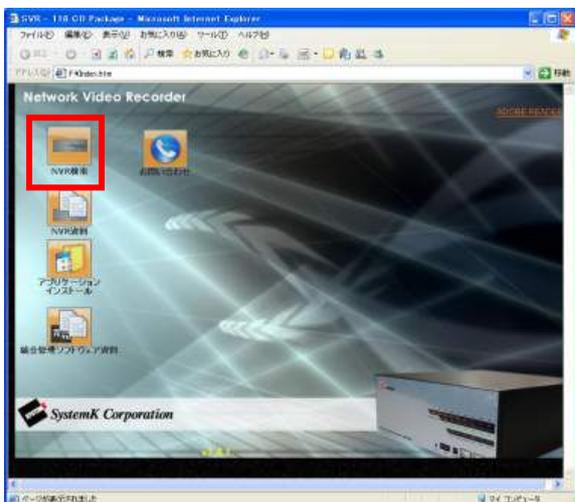
本体前面の LED は NVR の動作状態を表示します。



項目	LED 表示	作動状態/用途
①電源	消灯	NVR への給電が行われていない時
	緑色	NVR 動作時
	赤色	NVR 停止時（電源コード接続中）
②HDD1/HDD2	消灯	ハードディスクが未搭載時またはハードディスクが未フォーマット時
	緑色	録画停止時
	緑色 高速点滅	FW アップデート時（③と同時に高速点滅します）
	赤色	ハードディスクエラー発生時
	橙色 点灯	録画時
	橙色 点滅	古いデータの削除時
③カメラステータス (4 チャンネル)	消灯	カメラ未登録時またはカメラとの接続が切断されている時
	緑色	カメラとの接続が行われている時
	緑色 高速点滅	FW アップデート時（②と同時に高速点滅します）
④電源ボタン	—	本製品の起動・停止ボタン 起動する時:1 回押下 / 停止する時:2 回押下
⑤USB ポート	—	ディスプレイ操作時にマウスおよびキーボードを接続します また、録画データをバックアップする際に USB HDD を接続します
⑥リセットボタン	—	本製品の設定を初期化します

#### 1-4 本製品管理画面へのアクセス手順

- (1) 製品添付の CD-ROM をネットワークに接続している PC の CD ドライブに挿入します。
- (2) 自動で下記の画面が表示されます。
- (3) 下記画面左側メニューから「NVR 検索」をクリックして、本製品を検出します。



#### 1-5 本製品の検出

- (1) NVR が検出されると下図の画面に NVR の IP アドレスが表示されます。

IPアドレス	Http ポート	ブランド	モデル	MAC アドレス
192.168.101.50	80	SystemK	NVR-204	00-22-4e-f0-0f-49

- (2) 表示されたアドレスをダブルクリックすると、ブラウザが起動し NVR にアクセスします。
- (3) DHCP サーバのあるネットワーク環境に NVR を接続した場合、DHCP サーバより NVR に IP アドレスが割り当てられます。

※DHCP サーバがないネットワークに NVR を接続した場合、NVR の初期 IP アドレスで動作します。(初期 IP アドレスは 192.168.101.50)

この場合、パソコンの IP アドレスを事前に NVR と同じアドレス体系に設定する必要があります。

## 1-6 本製品へのログイン

- (1) NVR 検索ソフトまたはブラウザに直接 NVR のアドレスを入力すると、下図の画面のログイン認証画面が表示されます。



- (2) ユーザ名とパスワードを入力し、「OK」をクリックすると NVR にログインします。  
※初期設定時のログイン名とパスワードは共に「admin」となります。

## A 操作編

### 1 ライブ閲覧

#### 1-1 ライブ表示

NVR にログインすると最初にライブ表示を行うメイン表示画面が表示されます。

メイン表示以外を表示している場合は画面右上のメニューから「メイン表示」を選択します。



ライブ表示は1カメラ拡大表示と4カメラ分割表示が選択出来ます。

また、イベント録画中はライブ映像表示枠が赤色で点滅表示します。

(1) 1台のカメラのライブ映像を表示する場合、カメラツリー①から「カメラ名」をクリックします。

(2) 4台のカメラを同時に表示する場合、「Group1」をクリックします。

※カメラツリーのアイコン表示はそれぞれ以下のステータスを示します。

- ・青色アイコン・・・ライブ表示中（録画停止中）
- ・赤色アイコン・・・録画中
- ・灰色アイコン・・・カメラ未接続（カメラへの接続が出来ない時）
- ・白色アイコン・・・カメラ未登録



## 1-2 カメラコントロール操作

ライブ映像上で右クリックすると、下図のカメラ操作メニューが表示されます。

### 【カメラ操作メニュー】

- ・カメラ名称
- ・音声の再生（音声入力に対応したカメラのみ）
- ・通話の開始（音声出力に対応したカメラのみ）
- ・スナップショット
  - 1 スナップショット
  - 3 スナップショット連続
- ・手動録画開始（手動録画停止）
- ・デジタル PTZ
- ・明るさ補正（±5 段階）
- ・コントラスト補正（±5 段階）



(1) カメラ名称

現在表示しているカメラの登録名称が表示されます

(2) 音声の再生（音声入力に対応したカメラのみ）

カメラ内蔵のマイクまたは外部接続マイクの音声を受信します。

※ パソコンの内蔵スピーカーまたは外部スピーカーが必要になります。

※ 音声入力非対応のカメラは選択出来ません。

(3) 通話の開始（音声出力に対応したカメラのみ）

カメラ内蔵のスピーカーまたは外部接続スピーカーへ音声を送信します。

※ パソコンの内蔵マイクまたは外部マイクが必要になります。

※ 音声出力非対応のカメラは選択出来ません。

(4) スナップショット

表示しているライブ映像のスナップショットを 1 枚または 3 枚連続で保存します。

※スナップショット画像の保存先は C ドライブに「SnapshotFolder」フォルダが作成され、SnapshotFolder 内に保存されます。

(5) 手動録画開始（手動録画停止）

手動で映像の録画開始・停止が行えます。

手動録画停止時は「手動録画開始」、手動録画中は「手動録画停止」と表示されます。

(6) デジタル PTZ

ライブ映像の拡大表示（デジタルズーム）が行えます。

ズーム操作はマウスのスクロール操作またはマウスのドラッグ操作で行えます。

また、ズーム操作後にマウスのドラッグ操作を行う事でズーム表示位置の移動が出来ます。

ズーム操作時は画面右下に元の映像と拡大箇所が赤枠で表示されます。

※映像を疑似的にズーム操作しているため、映像の解像度が低下します。

※光学的にズーム操作を行っていないため、録画映像にズーム操作は反映されません。

(7) 明るさ補正

ライブ映像の明るさを補正します。

明るさの補正範囲は+5~-5 までの 11 段階です。

(8) コントラスト補正

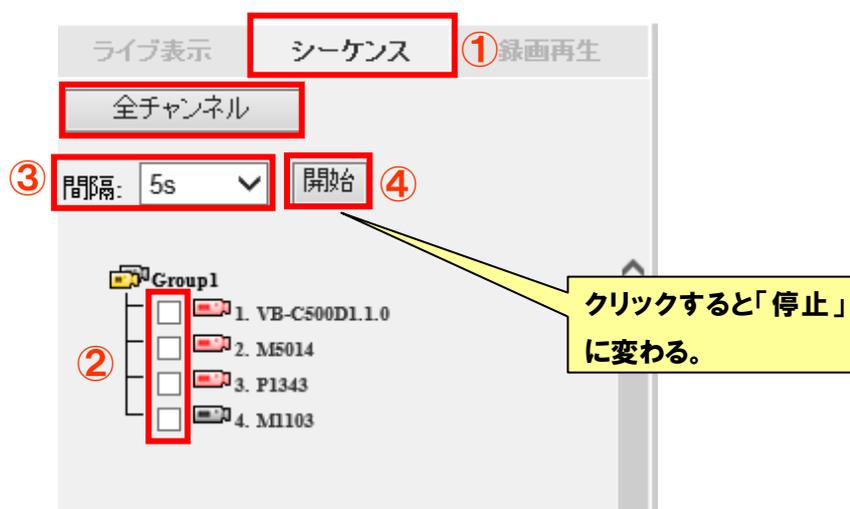
ライブ映像のコントラストを補正します。

コントラストの補正範囲は+5~-5 までの 11 段階です。

### 1-3 シーケンス

ライブ映像を一定間隔で切り替え表示する機能です。

- (1) シーケンス表示する場合、メイン表示画面内の画面左側のメニューから「シーケンス」①をクリックします。
- (2) シーケンス表示されるカメラ②を選択します。  
(チェックボックスにチェックを入れます)  
4 台全てのカメラをシーケンス表示する場合、「全チャンネル」ボタンをクリックします。
- (3) 表示間隔を③から選択し、「開始」ボタン④をクリックします。  
開始ボタンをクリックするとシーケンスが開始されます。  
(開始ボタンの表示が「停止」に切替ります)  
「停止」ボタンをクリックするとシーケンス表示が停止します。



## 1-4 PTZ 操作

パン・チルト・ズーム機能やピント調整、絞り（明るさ）調整機能に対応したカメラは PTZ パネルで各種操作が行えます。

※各機能の対応はカメラ毎に異なります。

- (1) メイン表示画面の画面左側のメニューから「ライブ表示」①をクリックします。
- (2) カメラツリー②の「Group1」を選択すると PTZ 操作に対応したカメラは PTZ 操作パネルのカメラ選択欄③にリスト表示されます。

カメラ選択欄から PTZ 操作を行いたいカメラを選択します。

また、カメラツリー②から任意のカメラを選択し、PTZ 操作を行う事も可能です。

※PTZ カメラにはデジタル PTZ カメラ(非対応機種有り)も含まれます。

- (3) PTZ パネル④では以下の操作が行えます。

▲ボタン④・・・上、下、左、右、左上、右上、左下、右下へ視点移動

HOME④・・・ホームポジションへの移動

※ホームポジションの設定については p42「3-1 PTZ プリセット」を参照してください。

ZOOM IN④・・・ズームイン（レンズの倍率を上げます）

ZOOM OUT④・・・ズームアウト（レンズの倍率を下げます）

Focus Far⑤・・・ピント位置を遠くに移動

Focus Near⑤・・・ピント位置を近くに移動

Focus Auto⑤・・・ピント位置の自動調整

Iris Close⑤・・・映像を暗くする（絞りを閉じる）

Iris Open⑤・・・映像を明るくする（絞りを開ける）

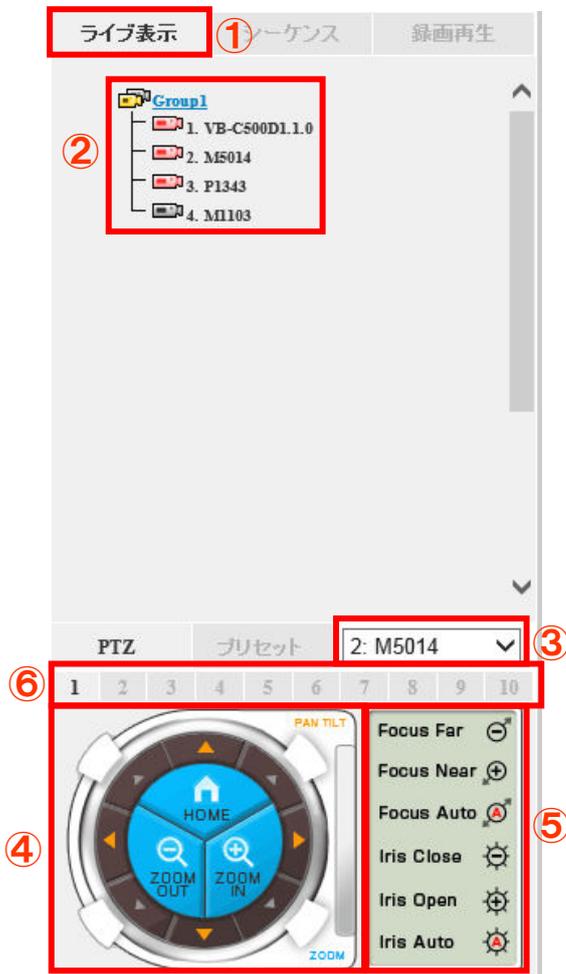
Iris Auto⑤・・・映像の明るさを自動調整する（絞りを自動調整する）

- (4) PTZ パネルの各操作は移動量⑥の調整が行えます。

カメラの視点移動やズーム操作での移動量を「1」～「10」で選択できます。

移動量は「1」では小さく、「10」では大きくなります。

※非対応のカメラを選択した場合、各ボタンがクリック出来ません。



## 1-5 プリセット移動・オートパン

### 1-5-1 プリセット移動

PTZ に対応したカメラでプリセットポジションに移動します。

- (1) メイン表示画面の画面左側のメニューから「ライブ表示」①をクリックします。
- (2) カメラツリー②の「Group1」を選択すると PTZ 操作に対応したカメラは PTZ 操作パネルのカメラ選択欄③にリスト表示されます。

カメラ選択欄から PTZ 操作を行いたいカメラを選択します。

また、カメラツリー②から任意のカメラを選択し、PTZ 操作を行う事も可能です。

※PTZ カメラにはデジタル PTZ カメラ(非対応機種有り)も含まれます。

- (3) PTZ パネルで「プリセット」④を選択します。
- (4) 登録されているプリセットポジション⑤を選択し、「移動」ボタン⑥をクリックします。

※プリセットポジションの設定は、p 53 「3-1 PTZ プリセット」を参照してください。



### 1-5-2 オートパン

- (1) 「パン操作」 ボタン①②をクリックすると、左方向または右方向へパン操作を行うことができます。

パン操作では現在位置から左端または右端まで視点が移動します。

パン操作中に停止ボタン③をクリックするとパン操作が停止します。

- (2) 「オートパン操作」 ボタン③をクリックすると、左右に自動で旋回します。

オートパン操作では現在位置から左右それぞれ端まで視点が移動します。

オートパン操作中に停止ボタン③をクリックするとオートパン操作が停止します。

※一部の PTZ カメラでは「パン操作」または「オートパン操作」が非対応のカメラがあります。



### 1-5-3 プリセットツアー

登録された順序でプリセットの自動巡回をします。

- (1) 「開始」 ボタン①をクリックします（「停止」 ボタンに切替ります）。

- (2) プリセットツアーを停止する場合は「停止」 ボタン①をクリックします（「開始」 ボタンに切替ります）。

※ あらかじめ p57 「3-2 PTZ ツアー」の手順に従って登録する必要があります。

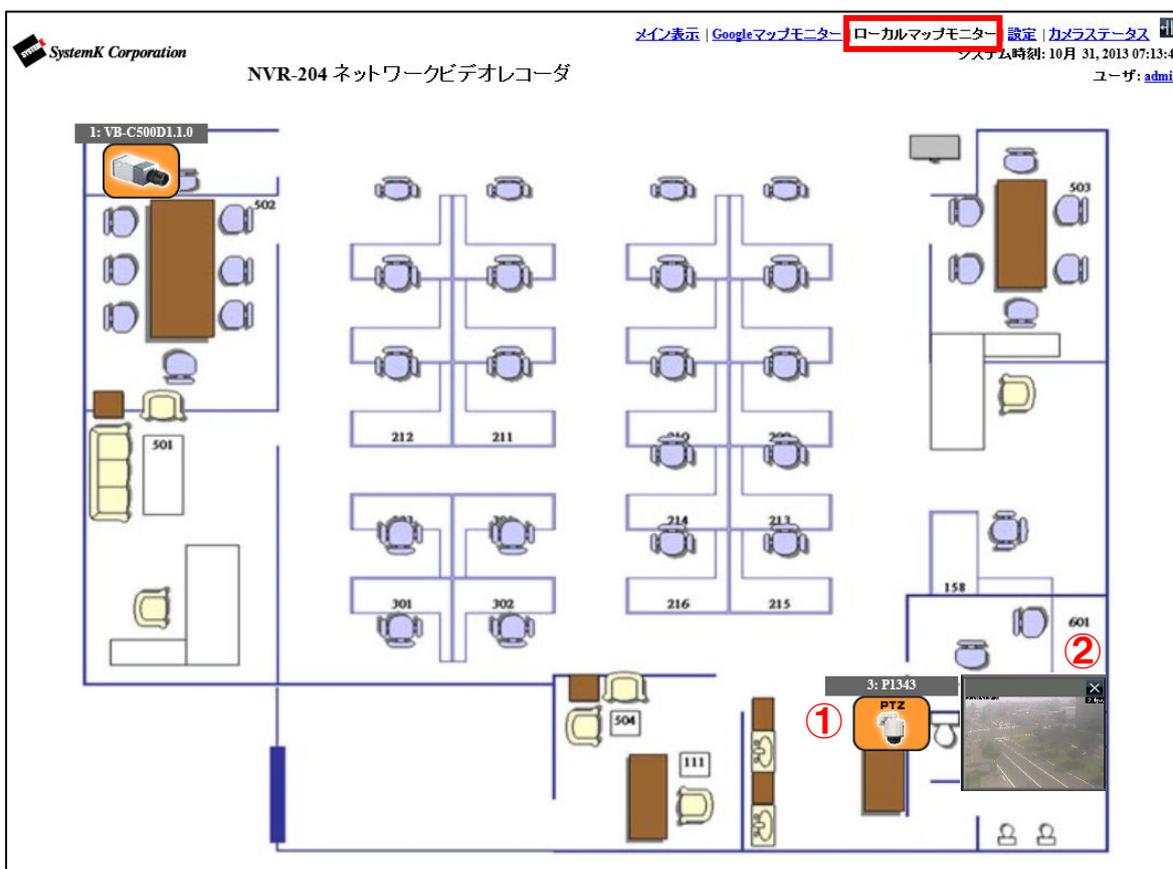


## 2 マップモニター

### 2-1 ローカルマップモニター

ローカルマップモニター画面では設定したマップ上に、カメラアイコンとライブ映像を表示することが出来ます。

- (1) 画面右上のメニューから「ローカルマップモニター」をクリックします。
- (2) マップ上のカメラアイコン①をクリックすると、ライブ画面が表示されます。
- (3) ライブ画面上の×ボタン②をクリックすると、ライブ画面が消えます。



## 2-2 Google マップモニター

Google マップモニター画面では Google マップ上に、カメラアイコンとライブ映像を表示することが出来ます。

※Google マップモニター画面を使用するためには、パソコンがインターネットに接続されている必要があります。

- (1) 画面右上のメニューから「Google マップモニター」をクリックします。
- (2) カメラのアイコン①をクリックすると、ライブ画面が表示されます。
- (3) ライブ画面上の×ボタン②をクリックすると、ライブ画面が消えます。



### 3 カメラステータス

メイン画面右上のメニューから『カメラステータス』をクリックすると、別ウィンドウでカメラステータスが表示されます。

カメラステータス画面ではカメラの接続状況やデータ通信量を確認することができます。

- (1) 画面右上のメニューから「カメラステータス」①をクリックします。
- (2) 別ウィンドウでカメラステータス画面②が表示されます。



②

SystemK Corporation		NVR-204 ネットワークビデオレコーダ			システム時刻: 10月 31, 2013 07:43:16
					ユーザ: admin
チャンネルID	1	2	3	4	
チャンネルステータス	録画	録画	録画	接続停止	
チャンネル名	VB-C500D1.1.0	M5014	P1343	M1103	
IPアドレス	192.168.101.101	192.168.101.102	192.168.101.103	192.168.101.104	
HTTPポート	80	80	80	80	
連続録画	録画	録画	録画		
スケジュール録画					
イベント録画					
手動録画					
圧縮方式	jpeg	h264	h264	h264	
解像度	640x480	1280x720	800x600	800x600	
フレームレート	5 fps	15 fps	15 fps	0 fps	
ビットレート	1001 kbps	746 kbps	105 kbps	0 kbps	
圧縮形式(録画)	ライブビューと同じ	ライブビューと同じ	ライブビューと同じ	ライブビューと同じ	
解像度(録画)	--	--	--	--	
受信フレームレート(録画)	--	--	--	--	
ビットレート(録画)	--	--	--	--	

## [カメラステータスの概要]

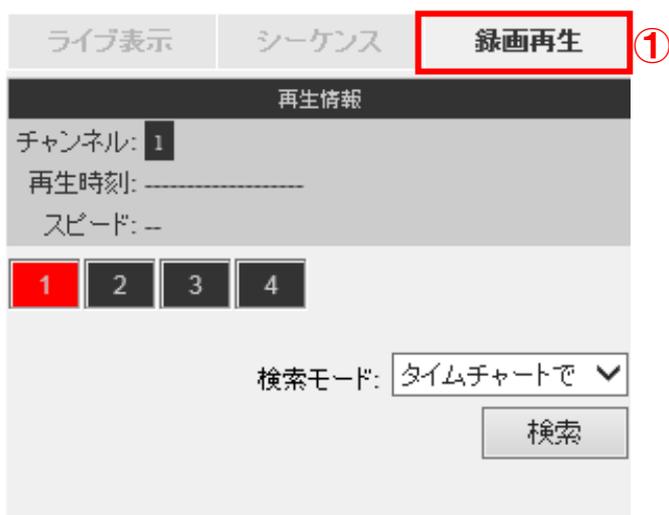
項目	表示内容
チャンネルID	カメラチャンネル番号
チャンネルステータス	ライブ: ライブ表示のみ作動中
	接続停止: カメラとの接続停止状態
	録画: ライブ表示と録画動作中
チャンネル名	登録されているカメラ名称
IP アドレス	カメラ IP アドレス
HTTP ポート	カメラポート番号
連続録画	録画中は録画表示、録画停止中は空欄
スケジュール録画	録画中は録画表示、録画停止中は空欄
イベント録画	録画中は録画表示、録画停止中は空欄
手動録画	録画中は録画表示、録画停止中は空欄
圧縮方式	映像フォーマット(MJPEG、MPEG-4、H.264)
解像度	映像の解像度
フレームレート	1 秒あたりのフレームレート
ビットレート	1 秒あたりの受信データレート
圧縮形式(録画)	録画データの映像フォーマット(MJPEG、MPEG-4、H.264) ※ライブと録画で圧縮形式が異なる場合のみ表示
解像度(録画)	録画データの映像の解像度 ※ライブと録画で圧縮形式が異なる場合のみ表示
受信フレームレート(録画)	録画データの 1 秒あたりのフレームレート ※ライブと録画で圧縮形式が異なる場合のみ表示
ビットレート(録画)	録画データの 1 秒あたりの受信データレート ※ライブと録画で圧縮形式が異なる場合のみ表示

## 4 録画再生

録画映像の確認はメイン表示画面の画面左側のメニューから「録画再生」①を選択します。

録画映像を検索するには4種類の方法があります。

- ①「タイムチャートで」検索
- ②「特定時間で」検索
- ③「イベントで」検索
- ④「最新のイベントで」検索



## 4-1 タイムチャート検索

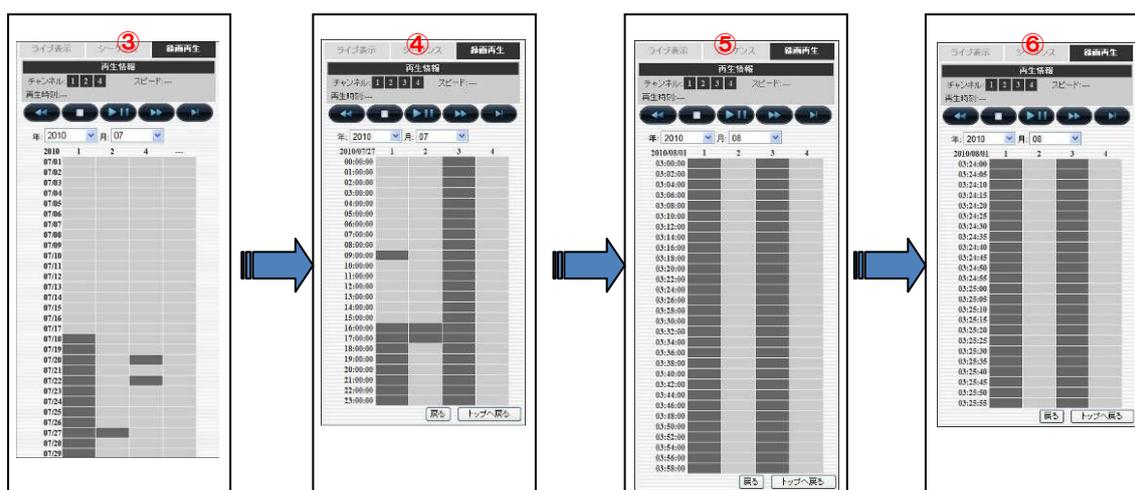
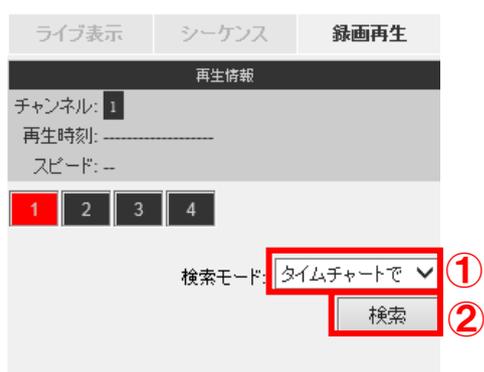
タイムチャートで録画データを検索します。

録画データある時間はタイムチャート上に濃灰色で表示されます。

- (1) 検索モード①のリストから「タイムチャートで」を選択し、「検索」ボタン②をクリックします。
- (2) 現在の年月のチャート画面③が表示されますので、検索したい年と月を選択します。  
選択した年月の1カ月分のチャートが表示されますので、日をクリックします。  
※録画データがある日は濃灰色で、録画データがない日は薄灰色で表示されます。
- (3) 指定した日の時間別のタイムチャート④が表示されますので、時間をクリックします。
- (4) 指定した時間の2分間隔のタイムチャート⑤が表示されますので、時間をクリックします。
- (5) 指定した時間の5秒間隔のタイムチャート⑥が表示されますので、時間をクリックすると、  
選択した日時の録画映像が再生されます。

※再生は②～⑤の各タイムチャートから開始できます。

※再生パネルの各操作は p 32 「4-5 録画再生コントロールパネル」を参照してください。



## 4-2 特定時間で再生

指定した時間の録画データを検索し、再生します。

- (1) 検索モードのリストから「タイムチャートで」①を選択し、「検索」ボタン②をクリックします。
- (2) 日付の右の「▼」マーク ③ をクリックすると、カレンダー④が表示されますので再生したい録画データがある日付をクリックします。
- (3) 再生したい録画データの時間⑤を指定します。手動で入力することもできます。
- (4) 日時の指定が完了後にスタートボタン⑥をクリックすると録画データを再生されます。

※指定の日時以降で最も近い日時の録画が再生されます。

※詳細は p 32 「4-5 録画再生コントロールパネル」を参照してください。



### 4-3 イベントによる再生

モーション検知や I/O 入力、CMS 検知で反応(イベント)した録画データを検索します。

(1) 検索モードのリストから「イベントで」①を選択し、「検索」ボタン②をクリックします。

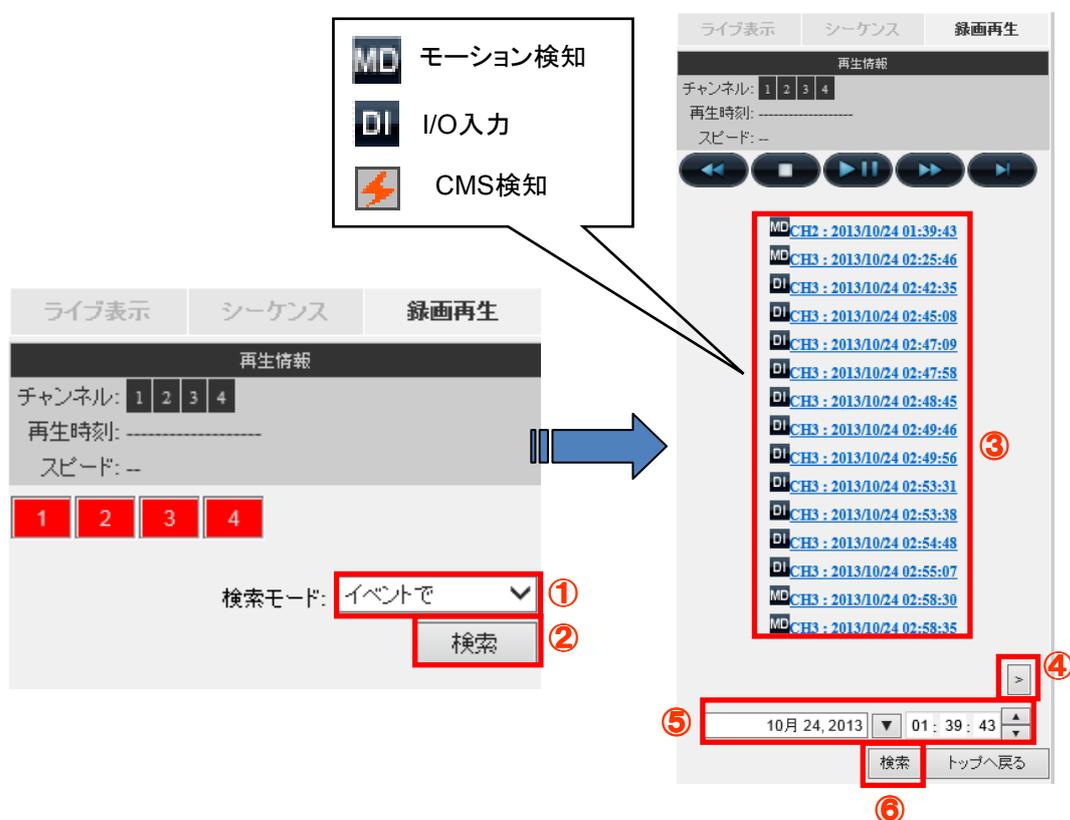
(2) イベントリスト③に保存されているイベントが 15 件毎に表示されます。

※検索結果は古い順に 15 件ずつ表示されます。「次」「前」ボタン④をクリックすることで次の 15 件、前の 15 件が表示されます。

検索条件により、最新のイベントは含まれない場合がありますので日時⑤を設定して検索⑥してください。

(3) イベントリストから再生したいイベント③をクリックすると録画映像の再生が開始します。

※詳細は p 32 「4-5 録画再生コントロールパネル」を参照してください。



#### 4-4 最新のイベントによる再生

モーション検知や I/O 入力、CMS 検知に反応(イベント)した録画データを最新のイベントから 15 件を検索します。

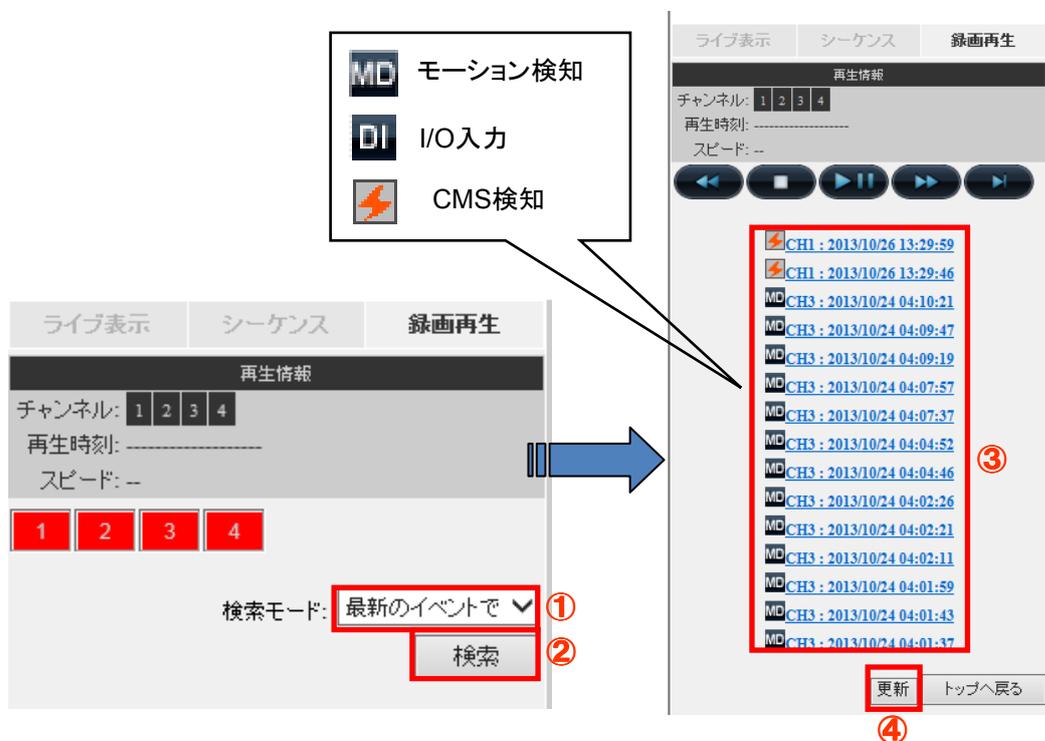
(1) 検索モードのリストから「最新のイベントで」①を選択し、「検索」ボタン②をクリックします。

(2) イベントリスト③に保存されている最新のイベント 15 件が表示されます。

※ 「更新」ボタン④をクリックすると最新のイベントのリストを再表示します。

(3) イベントリストから再生したいイベント③をクリックすると録画映像の再生が開始します。

※ 詳細は p 32 「4-5 録画再生コントロールパネル」を参照してください。



#### 4-5 録画再生コントロールパネル

録画データの再生は下記のコントロールパネルで操作します。

再生/一時停止、停止、早送り(最大 32 倍速)・巻戻し(最大 32 倍速)が可能です。

※各ボタンは動作中「白抜き」のボタンに変わります。

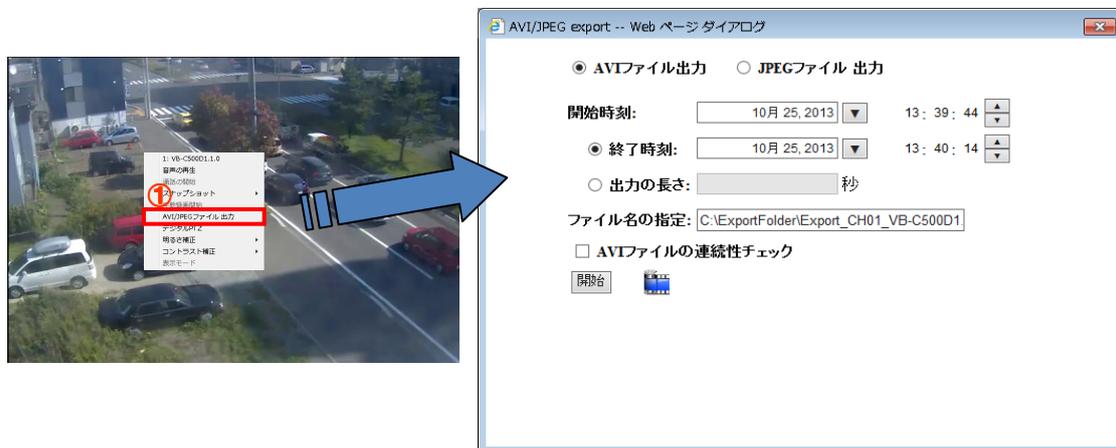
- ①再生/一時停止・・・映像の再生、一時停止を行います。
- ②停止・・・映像の停止を行います。  
※停止操作後に再生操作を行うと選択した時間に戻り再生が開始されます。
- ③巻戻し・・・映像の巻戻しを行います。  
ボタンをクリックする毎に巻戻し速度が 2 倍⇒4 倍⇒8 倍⇒16 倍⇒32 倍と変化し、32 倍の次は 2 倍に戻ります。
- ④早送り・・・映像の早送りをを行います。  
ボタンをクリックする毎に早送り速度が 2 倍⇒4 倍⇒8 倍⇒16 倍⇒32 倍と変化し、32 倍の次は 2 倍に戻ります。
- ⑤コマ送り・・・映像が 1 フレーム毎にコマ送りされます。



## 4-6 AVI/JPEG ファイル出力

録画データを AVI ファイルまたは JPEG ファイルで出力することができます。

データの出力は映像再生中に右クリックし、「AVI/JPEG ファイル出力」①を選択します。



### 4-6-1 AVI ファイル出力

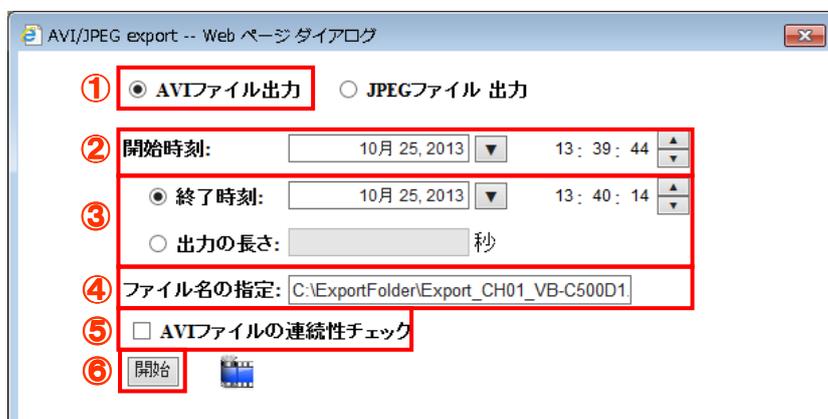
- (1) 「AVI ファイル出力」①を選択します。
- (2) 出力するデータの開始日時②を指定します
- (3) 出力するデータの終了日時③または出力データの時間③を指定します。
- (4) 出力先フォルダおよびファイル名④を指定します。

初期状態の出力先フォルダおよびファイル名は以下の様になります。

「C:\¥ExportFolder¥Export-CHxx-<開始時刻>.avi」

※ファイル名の「CHxx」は、チャンネル番号が入ります。

- (5) 「AVI ファイルの連続性チェック」のチェックの有無を選択します。  
この機能を有効にすると NVR Media Player で再生時にデータの改竄が行われたかチェックが出来ます。
- (6) 「開始」をクリックすると AVI ファイルの出力が開始されます。



#### 4-6-2 JPEG ファイル出力

- (1) 「JPEG ファイル出力」①を選択します。
- (2) 出力するデータの開始日時②を指定します
- (3) 出力するデータの終了日時③または出力データの時間③を指定します。

※録画データのフレームレートが高い場合や出力期間が長い場合は、出力される JPEG データ数が多くなります。

- (4) 出力先フォルダおよびファイル名④を指定します。

初期状態の出力先フォルダおよびファイル名は以下の様になります。

「C:\ExportFolder\Export-CHxx-<開始時刻>.jpg」

※ファイル名の「CHxx」は、チャンネル番号が入ります。

- (5) 「開始」をクリックすると JPEG ファイルの出力が開始されます。



#### 4-6-3 AVI/JPEG ファイル出力時の注意点

- (1) 出力先フォルダを指定する場合は、半角英数字を使用して下さい。
- (2) 出力先フォルダを指定以外は変更しないで下さい。
- (3) 出力されたファイルが Windows Media Player 等で再生されない場合は、ffdshow(フリーのコーデック)等をインストールして下さい。  
この他 VLC Media Player (フリーのメディアプレーヤー) でも再生可能です。  
また、添付 CD に付属している NVR Media Player で再生可能です。  
※NVR Media Player は統合ソフトをインストールすると同時にインストールされます。  
※ffdshow や VLC Media Player のインストール・操作手順についてはサポート対象外です。

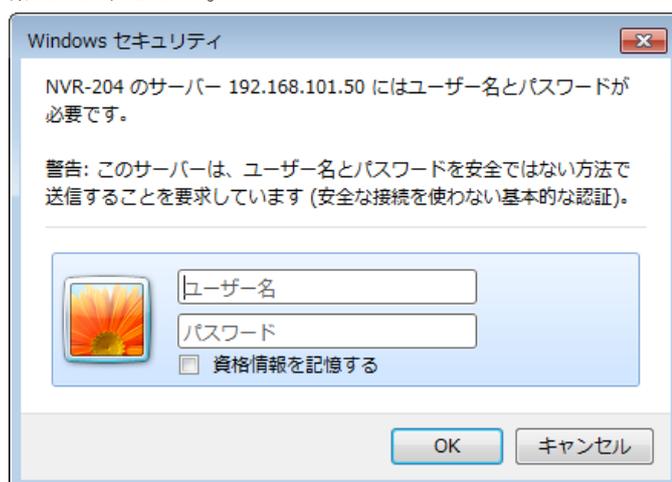
## B 設定編

本製品でシステム設定変更を行い、設定完了メッセージが表示されても、設定画面が再表示されるまで、他の動作に移動しないで下さい。設定変更した項目が無効になります。

### 1 システム設定

#### 1-1 管理画面の表示

- (1) ブラウザのアドレス欄に NVR の IP アドレス(<http://<NVRのIPアドレス>>)を入力しアクセスします。
- (2) 下図のログイン画面が表示されたら、ユーザ名とパスワードを入力します。
  - ※ 初期設定はユーザ名とパスワード共に「**admin**」です。
  - ※ ユーザ名とパスワードの設定については p 42 「1-7 ユーザーアカウント設定」を参照してください。



## 1-2 言語の切り替え

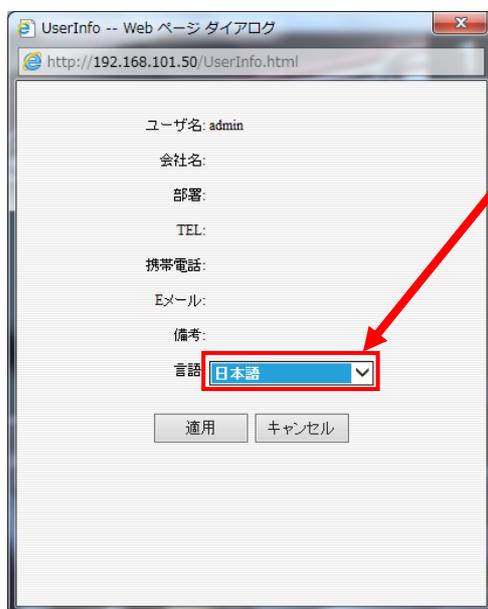
本製品の表示言語を切り替えます。

- (1) 画面右上①のユーザ名をクリックします。
- (2) ダイアログが開きますので、「言語」(language) 選択欄から「日本語」(Japanese) を選択し、「適用」(Apply) をクリックします。

画面が日本語に切り替わります。

※選択されている言語で画面表示（項目名等）されます。

下図の画面は、日本語が選択された状態の画面です。



### 1-3 設定画面

(1) メイン画面右上の「設定」①をクリックし、設定画面へ移動します。



## 1-4 ネットワーク設定

### 1-4-1 ネットワーク設定

(1) 設定画面右側のメニューから「システム設定」－「ネットワーク設定」－「ネットワーク設定」の順にクリックします。

(2) 接続タイプ(オートモード、固定 IP、DHCP クライアント)を選択します。

固定 IP を選択した場合は、手動で本製品に割り当てる IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS、HTTP ポート番号(通常は 80)を入力します。

※ネットワーク設定では、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイは必須入力項目です。必須項目に未入力の項目がある場合、設定が適用出来ません。

ゲートウェイのアドレスが不明の場合は、ネットワーク管理者に確認して下さい。

※オートモードは、本製品が接続されているネットワークに DHCP サーバがある場合、DHCP クライアントとして動作します。

また、DHCP サーバがない場合は本製品の初期 IP アドレス (192.168.101.50) が設定されます。また、本製品の DHCP サーバ機能が有効になります。

(3) ストリーミングポートは設定を変更する必要が無い場合は初期設定のままにします。

(4) 「NVR 名」には任意の名称を入力します。

※ 最大入力可能文字数は全角 5 文字です。

(5) 各設定項目の入力後、適用をクリックします。

※ネットワークやPCのセキュリティ設定などでストリーミングポートの9877が許可されていない場合、ライブ表示や録画再生で映像が表示されません。

その場合画面上に「UNABLE TO RECEIVE VIDEO」と表示されます。

※インターネット経由で本製品にアクセスする場合は、ルータ等に HTTP ポートとストリーミングポートの転送設定(ポートマッピング)する必要があります。

※ポートマッピングは IP マスカレード、静的マスカレード、バーチャルサーバなど、ルータの種類やメーカーで名称が異なります。

SystemK Corporation

NVR-204 ネットワークビデオレコーダ

メイン表示 | Googleマップモニター | ローカルマップモニター | 設定 | カメラステータス

システム時刻: 11月 02, 2013 13:55:38

ユーザ: admin

設定

- システム設定
  - ネットワーク設定
    - ネットワーク設定**
    - DHCPサーバ
    - DDNSサービス
    - 日時
    - ユーザアカウント
    - グループ権限
    - ディスク設定
  - チャンネル構成
  - イベント構成
  - 録画設定
  - システムオプション

ネットワーク設定

接続タイプ:

ステータス: 内部DHCPサーバ無効

IPアドレス: 192.168.101.10

サブネットマスク: 255.255.255.0

ゲートウェイ: 192.168.101.254

プライマリDNS: 192.168.101.254

セカンダリDNS:

HTTPポート:

ストリーミングポート:

UPnPポートフォワーディング:  外部ポート:

オプション設定

NVR名:

## 1-4-2 DHCP サーバ

本製品のネットワーク設定でオートモードまたは固定 IP を選択した場合、DHCP サーバ機能を有効にすることが出来ます。

本製品が接続されているネットワークに DHCP サーバがある場合、ネットワークに影響を与える場合がありますので、ご注意ください。

※本製品のネットワーク設定が DHCP クライアントの場合は、DHCP サーバ機能は使用できません。

(1) 設定画面右側のメニューから「システム設定」－「ネットワーク設定」－「DHCP サーバ」の順にクリックします。

(2) DHCP サーバ機能を有効にする場合、オンを選択します。

(3) 最大 DHCP クライアント数を入力します。

DHCP クライアント数は最大で 30 クライアントまでとなります。

(4) 適用をクリックします。

SystemK Corporation

NVR-204 ネットワークビデオレコーダ

メイン表示 | Googleマップモニター | ローカルマップモニター | 設定 | カメラステータス

システム時刻: 11月 02, 2013 13:57:04

ユーザ: admin

設定

- システム設定
  - ネットワーク設定
    - DHCPサーバ**
    - DDNSサービス
    - 日時
    - ユーザアカウント
    - グループ権限
    - ディスク設定
  - チャンネル構成
  - イベント構成
  - 録画設定
  - システムオプション

DHCPサーバ

DHCPサーバ:  オン  オフ

最大DHCPクライアント数:  (最大30クライアント)

## 1-5 DDNS サービスの設定

本機能を使用するには、事前に DynDns (<http://dyn.com/>) または No-IP (<http://www.noip.com>) で DDNS ドメイン名を取得する必要があります。

尚、DynDns および No-IP のドメイン取得についてはサポート致しておりません。

(1) 設定画面右側のメニューから「システム設定」－「DDNS サービス」の順にクリックします。

(2) 「DDNS サービスを有効にする」①にチェックします。

(3) ドメイン名を取得したサービスの「サーバアドレス」②を選択します。

(4) 取得した DDNS ドメイン名及びユーザーID・パスワード③を入力します。

(5) 「DDNS ステータスの確認」④をクリックし設定が正しいか確認します。

(6) 「適用」⑤をクリックします。

※ 1 時間毎に現在の IP アドレスを確認し、変更がある場合はその IP アドレスを NVR から DDNS サービスに通知します。

※ 尚、IP アドレスが DNS サーバに反映されるまでに時間がかかる場合があります。

SystemK Corporation

NVR-204 ネットワークビデオレコーダ

メイン表示 | [Googleマップモニター](#) | [ローカルマップモニター](#) | 設定 | [カメラステータス](#)  
システム時刻: 11月 02, 2013 13:58:45  
ユーザ: admin

設定

- システム設定
  - ネットワーク設定
  - ネットワーク設定
  - DHCPサーバ
  - DDNSサービス**
  - 日時
  - ユーザアカウント
  - グループ権限
  - ディスク設定
- チャンネル構成
- イベント構成
- 録画設定
- システムオプション

ダイナミックDNSサービス

①  DDNSサービスを有効にする

② サーバアドレス: [www.DynDNS.com](#)

③

ドメイン名: \_\_\_\_\_

ユーザー名: \_\_\_\_\_

パスワード: \_\_\_\_\_

接続ステータス: 未接続

④ DDNSステータスの確認

適用

⑤

## 1-6 日時の設定

- (1) 設定画面右側のメニューから「システム設定」－「日時」の順にクリックします。
- (2) タイムゾーンは「GMT+09 (Osaka, Sapporo, Tokyo, Seoul)」①を選択します。
- (3) 「手動」「NTP サーバと同期」「PC と同期」②のいずれかを選択します。
- (4) 「NTP サーバと同期」を選択した場合は、「NTP サーバの IP アドレスまたはドメイン名」の入力と「アップデート間隔」③を選択します。

※NTP サーバをドメインで登録した場合は、NVR のネットワーク設定で DNS の設定が必要になります。

※P38 1-4-1 ネットワーク設定を参照

- (5) NVR を NTP サーバとして動作させる場合は、「NVR を NTP サーバとして使用する」にチェックを入れます。
- (6) NVR と時刻同期するクライアントの許可範囲を選択します。

「NVR と同じネットワークにあるクライアント」を選択すると NVR と同じネットワークに接続されている機器のみ時刻同期が許可されます。

「すべて」を選択するとネットワークが異なる機器（インターネット経由など）も時刻同期が許可されます。

- (7) 「適用」をクリックします。

SystemK Corporation

NVR-204 ネットワークビデオレコーダ

メイン表示 | Googleマップモニター | ローカルマップモニター | 設定 | カメラステータス

システム時刻: 11月 03, 2013 16:02:49

ユーザ: admin

### 日時設定

**通知:**  
製品の利用開始前(特に録画機能)に正しい時刻を設定することは重要です。利用開始後に時間を変更した場合、予測不能なエラー(再起動または録画データの損失)が生じる恐れがあります。

タイムゾーン: GMT+09 (Osaka, Sapporo, Tokyo, Seoul)  サマertime ①

手動

年: 2013 月: 11 日: 03  
時: 16 分: 02 秒: 46 ②

NTPサーバと同期 ③

NTPサーバ: ntp.jst.mfeed.ad.jp  
アップデート間隔: 1時間

最終同期時刻: 11月 03, 2013 16:01:18. ステータス: 失敗

PCと同期 11月 03, 2013 16:03:27

### NTPサーバ

**通知:**  
「すべて」を選択する場合、ファイアウォール/ルータ/ゲートウェイのUDPポート123を開放してください。

NVRをNTPサーバとして使用する ④

許可するクライアント:

すべて ⑤

NVRと同じネットワークにあるクライアント

適用同期 ⑥

## 1-7 ユーザーアカウント設定

### 1-7-1 ユーザーの追加

本製品にアクセスするユーザーの登録をします。

(1) 設定画面右側のメニューから「システム設定」－「ユーザーアカウント」の順にクリックします。

(2) 必須項目のユーザ名、パスワード、パスワードの確認、グループ、言語①を選択します。オプションの項目は任意入力の項目となります。

※グループは「group1」～「group5」、「guest」から選択できます。

(3) 「追加」②をクリックします。

SystemK Corporation

NVR-204 ネットワークビデオレコーダ

メイン表示 | [Googleマップモニター](#) | [ローカルマップモニター](#) | [設定](#) | [カメラステータス](#)  
 システム時刻: 11月 02, 2013 14:07:01  
 ユーザ: [admin](#)

設定

- システム設定
  - ネットワーク設定
  - DDNSサービス
  - 日時
  - ユーザーアカウント**
  - グループ権限
  - ディスク設定
- チャンネル構成
- イベント構成
- 録画設定
- システムオプション

ユーザーアカウント 設定

ユーザ名	グループ	備考
admin	admin	

[編集](#) [削除](#)

ユーザの追加

ユーザ名:

パスワード:

パスワードの確認:

会社名:  (オプション)

部署:  (オプション)

TEL:  (オプション)

携帯電話:  (オプション)

Eメール:  (オプション)

グループ:  ▼

言語:  ▼

備考:  (オプション)

[追加](#) ②

### 1-7-2 ユーザの編集

登録済みのユーザの編集します。

- (1) 登録済みのユーザを編集する場合は、ユーザリスト①から編集するユーザを選択します。
- (2) 「編集」②をクリックします。
- (3) 「ユーザの変更」③欄でユーザ情報を編集します。
- (4) 「適用」④をクリックします。

ユーザーを削除する場合は「削除」ボタンをクリックします。

[メイン表示](#) | [Googleマップモニター](#) | [ローカルマップモニター](#) | [設定](#) | [カメラステータス](#)  
 システム時刻: 11月 02, 2013 14:19:44  
 ユーザ: [admin](#)

SystemK Corporation

NVR-204 ネットワークビデオレコーダ

**設定**

- ☐ システム設定
  - ☑ ネットワーク設定
  - ☑ DDNSサービス
  - ☑ 日時
  - ☑ ユーザアカウント
  - ☑ グループ権限
  - ☑ ディスク設定
- ☑ チャンネル構成
- ☑ イベント構成
- ☑ 録画設定
- ☑ システムオプション

ユーザアカウント設定

ユーザ名	グループ	備考
admin	admin	
user	group1	

ユーザの変更

ユーザ名:

パスワード:

パスワードの確認:

会社名:  (オプション)

部署:  (オプション)

TEL:  (オプション)

携帯電話:  (オプション)

Eメール:  (オプション)

グループ:  ▼

言語:  ▼

備考:  (オプション)

### 1-7-3 ユーザの削除

登録済みのユーザの削除します。

- (1) 登録済みのユーザを削除する場合は、ユーザリスト①から削除するユーザを選択します。
- (2) 「削除」②をクリックします。

SystemK Corporation

[メイン表示](#) | [Googleマップモニター](#) | [ローカルマップモニター](#) | [設定](#) | [カメラステータス](#)  
 システム時刻: 11月 02, 2013 14:19:44  
 ユーザ: [admin](#)

NVR-204 ネットワークビデオレコーダ

**設定**

- ☐ システム設定
  - ☐ ネットワーク設定
  - ☐ DDNSサービス
  - ☐ 日時
  - ☐ ユーザアカウント
  - ☐ グループ権限
  - ☐ ディスク設定
- ☐ チャンネル構成
- ☐ イベント構成
- ☐ 録画設定
- ☐ システムオプション

**ユーザアカウント 設定**

ユーザ名	グループ	備考
admin	admin	
user	group1	

①

②

**ユーザの変更**

ユーザ名:

パスワード:

パスワードの確認:

会社名:  (オプション)

部署:  (オプション)

TEL:  (オプション)

携帯電話:  (オプション)

Eメール:  (オプション)

グループ:  ▼

言語:  ▼

備考:  (オプション)

## 1-8 グループ権限の設定

- (1) 設定画面右側のメニューから「システム設定」－「グループ権限」の順にクリックします。
- (2) グループ①を選択します。  
また、グループ名を変更する場合は「グループ名の変更」をクリックし、グループ名を入力します。  
※「admin」と「guest」は変更できません。
- (3) 各項目②の権限を設定します。  
チェックを付けると権限が付与され、チェックを外すと権限が無効になります。
- (4) 「適用」③をクリックします。

### ■ グループの種類

- admin→グループ名および権限の変更不可
- group1→各機能の権限の変更可能
- group2→各機能の権限の変更可能
- group3→各機能の権限の変更可能
- group4→各機能の権限の変更可能
- group5→各機能の権限の変更可能
- guest→グループ名および権限の変更不可

## 1-9 ディスク設定

新しいハードディスクを本製品に組み込んだ時、録画を開始する前にハードディスクをフォーマットします。

- (1) 設定画面右側のメニューから「システム設定」－「ディスク設定」の順にクリックします。
- (2) 未フォーマットのハードディスクは、「ディスク・ステータス」①に「オフライン」と表示されます。

フォーマット済みのハードディスクは「オンライン」と表示されます。

- (3) ハードディスクをフォーマットする場合、「フォーマット」②をクリックします。
- その後、フォーマット実行の確認メッセージが表示されますので、「OK」をクリックします。

ハードディスクのフォーマット完了するまで暫くお待ち下さい。

SystemK Corporation

メイン表示 | [Googleマップモニター](#) | [ローカルマップモニター](#) | [設定](#) | [カメラステータス](#)

NVR-204 ネットワークビデオレコーダ

システム時刻: 11月 02, 2013 14:30:48  
ユーザ: admin

設定

- システム設定
  - ネットワーク設定
  - DDNSサービス
  - 日時
  - ユーザアカウント
  - グループ権限
  - ディスク設定
- チャンネル構成
- イベント構成
- 録画設定
- システムオプション

ディスクID	タイプ	容量	ステータス	
1	内部	937GB	正常	フォーマット

① ②

※ハードディスクのフォーマット中は、決して電源を切らないで下さい。

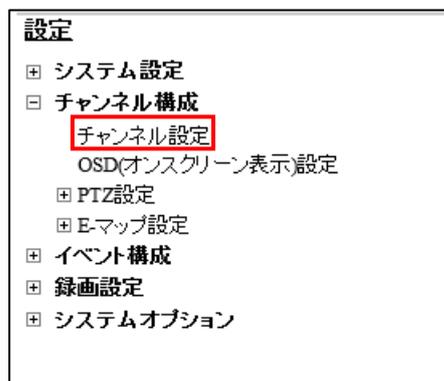
※フォーマット後のディスク容量表示は 10 数パーセント程度、初期表示容量より減少します。  
この部分はシステム側で使用しております。

## 2 チャンネル構成

### 2-1 チャンネル設定

#### 2-1-1 カメラの登録

- (1) 設定画面右側のメニューから「チャンネル構成」→「チャンネル設定」の順にクリックします。



- (2) 「検索」① ボタンをクリックして、ネットワーク(LAN)に接続されているカメラを検索します。
- (3) 検索されたカメラのリスト②が表示されますので、リストから登録するカメラを選択します。
- (4) 「構成」③をクリックします。
- (5) 「新しいカメラの追加」④欄に選択したカメラの情報が表示されます。  
チャンネル ID、チャンネル名、ユーザ名、パスワードを入力します。
- (6) 「検知」⑥ ボタンをクリックします。
- (7) カメラとの通信が完了すると「カメラ設定情報」欄にカメラの情報が表示されます。  
ビデオポート、圧縮方式、解像度、フレームレート、画質を選択します。  
また、連続録画、録音のチェックの有無を選択します。  
※画質選択の数字と画質の対応はメーカーや機種毎に異なります。メイン表示画面にて表示される画質を確認して下さい。  
例：Panasonic i-pro シリーズ：1（最高画質）>10（最低画質）  
AXIS カメラ：10（最高画質）>1（最低画質）  
※解像度やフレームレートはメーカーや機種毎に選択可能項目が異なります。  
※カメラの設定情報は、メーカーや機種毎、圧縮方式で異なります。  
※ビデオポートはカメラに依存します(非対応のカメラがあります)。
- (8) 「プレビュー」⑦をクリックすると、カメラの映像を確認することが出来ます。
- (9) 「追加」⑧をクリックし、カメラを登録します。  
※インターネット経由で接続するカメラは、手動で IP アドレスを入力し登録します。自動で検索はできません。また、カメラまたはルータに固定のグローバル IP アドレスまたは DDNS のドメインが設定されている必要があります。

チャンネル設定

チャンネル チャンネル名 IPアドレス 圧縮方式 解像度

削除 編集

ここをクリックしてカメラを検索してください: **検索** ①

\*下記『新しいカメラの追加』から手動でカメラの設定をする場合は、このステップをスキップして、新しいカメラを追加することができます。



チャンネル設定

チャンネル チャンネル名 IPアドレス 圧縮方式 解像度

削除 編集

ここをクリックしてカメラを検索してください: **再検索**

\*下記『新しいカメラの追加』から手動でカメラの設定をする場合は、このステップをスキップして、新しいカメラを追加することができます。

メーカー	モデル	IPアドレス	HTTPポート	インストール
Canon	VB-C500D/1.1.0	192.168.101.101	80	
AXIS	P1343	192.168.101.103	80	
AXIS	M1103	192.168.101.104	80	
AXIS	M7014	192.168.101.105	80	
AXIS	P3301	192.168.101.106	80	
AXIS	P3343	192.168.101.107	80	
Vivotek	IP8332	192.168.101.108	80	

②

検索されたカメラのリスト

③

**構成** \*検索結果からカメラを選択してから「構成」をクリックし、下記の設定を行います。

新しいカメラの追加:

チャンネルID: 1

チャンネル名: VB-C500D1.1.0

IPアドレス: 192.168.101.101

ユーザ名: root

パスワード: ●●●●

HTTPポート: 80

④

「新しいカメラの追加」画面

⑤

**検知** 上記の空欄にカメラ情報を入力してから「検知」をクリックしてください。

カメラ設定情報

ビデオポート: 80

圧縮方式: mpeg4

解像度: 640x480

フレームレート: 10

画質: 3

録画:  連続 Full

圧縮方式: ライブビューと

録音:  録音

プレビュー ⑦

「カメラ設定情報」画面

⑥

⑧

**追加**

キャンセル

## 2-1-2 カメラの編集

- (1) チャンネルリスト①から編集するチャンネルを選択します。
- (2) 「編集」② をクリックします。
- (3) 「チャンネル設定の編集」③欄に登録データが表示されます。  
表示された内容を編集します。
- (4) 「検知」④をクリックします。
- (5) カメラとの通信が完了すると「カメラ設定情報」⑤欄に登録データが表示されます。  
表示された内容を編集します。
- (6) 「適用」⑥をクリックします。

チャンネル設定				
チャンネル	チャンネル名	IPアドレス	圧縮方式	解像度
1	VB-C500D1.1.0	192.168.101.101	mpeg4	640x480

削除 編集

ここをクリックしてカメラを検索してください: 検索

\* 下記『新しいカメラの追加』から手動でカメラの設定をする場合は、このステップをスキップして、新しいカメラを追加することができます。

**チャンネル設定の編集:**

チャンネルID: 1

チャンネル名:

IPアドレス:

ユーザ名:

パスワード:

HTTPポート:

検知 カメラ情報を修正してから「検知」をクリックしてください。

**カメラ設定情報**

ビデオポート:

圧縮方式:

解像度:

フレームレート:

画質:

録画:  連続

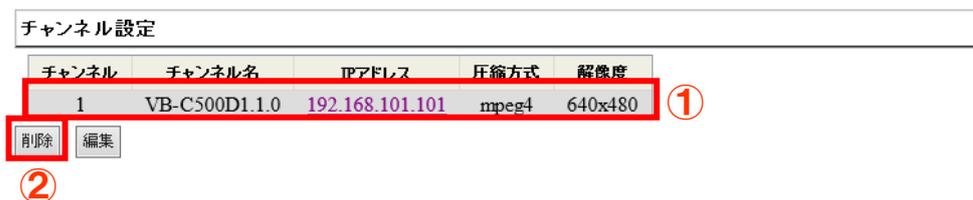
圧縮方式:

録音:  録音

適用 キャンセル

### 2-1-3 カメラの削除

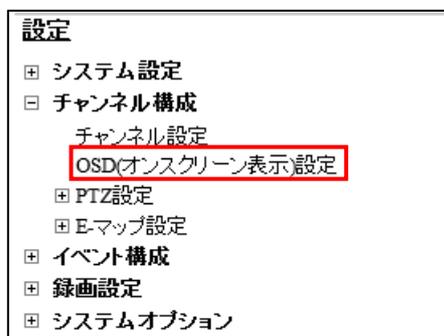
- (1) チャンネルリスト①から削除するチャンネルを選択します。
- (2) 「削除」② をクリックします。



## 2-2 OSD(オンスクリーン表示)設定

ライブ映像に表示するテキストを設定します。

- (1) 設定画面右側のメニューから「チャンネル構成」－「OSD (オンスクリーン表示) 設定」の順にクリックします。



- (2) チャンネルリスト①から OSD 設定するチャンネルを選択します。
- (3) テキスト表示オプション②欄で表示するテキストを設定します。  
設定可能な表示オプションは時間表示、FPS 表示、テキスト表示（任意）です。
- (4) OSD 表示位置③欄で OSD 表示させる画面の位置を設定します。
- (5) OSD 文字と背景のカスタマイズ④欄で文字サイズ、文字の背景色等を設定します。  
※日本語でテキスト表示をする場合、フォント選択はデフォルトのままとして下さい。  
その他のフォントを選択した場合は正常に文字が表示されない場合があります。
- (6) 「プレビュー」⑤をクリックすると、設定した OSD 表示を確認することが出来ます。
- (7) 「適用」⑥をクリックします。

**OSD(オンスクリーン表示)設定**

① チャンネル: 1: VB-C500D1.1.0

OSDを表示しない

OSDを表示する

**テキスト表示オプション**

②  時刻表示

FPS表示

テキスト表示: 屋上

**OSD表示位置**

③  NVR相対位置を使用 X: 0 % Y: 0 %

OSD表示の位置: 右上

**OSD文字と背景のカスタマイズ**

④ 文字サイズ:  自動

指定 8

文字色:  変更

フォント: デフォルト

文字の背景色:  透過

指定  変更

⑤ プレビュー \*このボタンをクリックして、OSD設定を確認できます。

⑥ 適用 キャンセル



## 3 PTZ 設定

### 3-1 PTZ プリセット

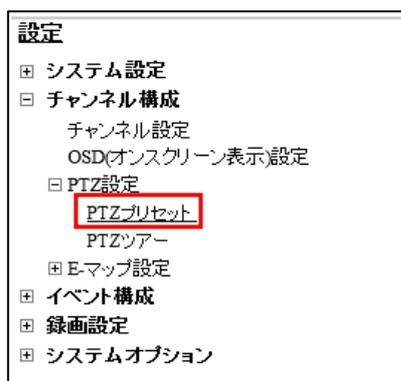
チャンネルごとに、プリセットポジションの登録を行います。

設定画面右側のメニューから「チャンネル構成」－「PTZ 設定」－「PTZ プリセット」の順にクリックします。

※PTZ カメラにはデジタル PTZ カメラ(非対応機種有り)も含まれます。

※「PTZ プリセット登録」を行うと、カメラ本体側のプリセット登録も設定・更新されます。

本製品以外でもカメラを使用されている場合はご注意ください。



### 3-1-1 プリセットの登録

- (1) プリセットを登録するカメラ①を選択します。
- (2) 「追加」② ボタンをクリックします。
- (3) 「ポジション番号」を選択し、ポジションの名称を入力します。  
 ※「ポジション名」は半角英数字(最大 16 文字)で入力してください。  
 ※日本語で登録されたカメラと同期した場合、正常に文字が表示されない場合があります。  
 その場合、半角英数字（最大 16 文字）で再設定して下さい。
- (4) 映像を確認し「パン」、「チルト」、「ズーム」、「フォーカス」の各ボタン④を操作し、プリセット位置を調整します。
- (5) 「適用」⑤をクリックします。

PTZプリセット

チャンネル 2.M5014

ホームポジション	イベント発生時プリセットポジション	ポジション番号	ポジション名	備考
追加	編集	削除	カメラと同期	

ポジション番号: 1

ポジション名:

PTZのスピード: 1

ズーム: ズームイン ズームアウト

フォーカス: 近 自動 遠

備考:

適用

### 3-1-2 プリセットの変更

- (1) プリセット一覧①から設定変更をするプリセット番号をクリックします。  
選択したプリセットは背景色が変わります。
- (2) 「編集」②をクリックします。
- (3) ポジション名称を変更する場合、名称を編集します。
- (4) 映像を確認し「パン」、「チルト」、「ズーム」、「フォーカス」の各ボタン④を操作し、プリセット位置を調整します。
- (5) 「適用」をクリックします。

チャンネル: 2. M5014

ホームポジション	イベント発生時プリセットポジション	ポジション番号	ポジション名	備考
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1	Preset1	
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	2	Preset2	
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	3	Preset3	

①

追加 編集 削除 カメラと同期

②

### 3-1-3 プリセットの削除

- (1) プリセット一覧①から削除するプリセット番号をクリックします。  
選択したプリセットは背景色が変わります。
- (2) 「削除」②をクリックします。

チャンネル: 2. M5014

ホームポジション	イベント発生時プリセットポジション	ポジション番号	ポジション名	備考
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1	Preset1	
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	2	Preset2	
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	3	Preset3	

①

追加 編集 削除 カメラと同期

②

### 3-1-4 「カメラと同期」による登録

- (1) 「カメラと同期」① をクリックすると、カメラに登録されたプリセットが表示されます。
- (2) PTZ 設定リスト表示後、3-1-2 「設定の変更」手順にて各種設定を行います。

チャンネル: 2. M5014

ホームポジション	イベント発生時プリセットポジション	ポジション番号	ポジション名	備考
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1	Preset1	
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	2	Preset2	
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	3	Preset3	

①

### 3-1-5 ホームポジション、イベント発生時プリセットポジションの設定

- (1) 登録されているプリセットからホームポジションに設定する場合は、「ホームポジション」① 欄からプリセットを選択します。

※ここでのホームポジションの設定は、カメラ本体でのホームポジションの設定は別となります。

- (2) イベント発生時プリセットポジションを設定する場合は、「イベント発生時プリセットポジション」② 欄からプリセットを選択します。

チャンネル: 2. M5014

ホームポジション	イベント発生時プリセットポジション	ポジション番号	ポジション名	備考
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1	Preset1	
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	2	Preset2	
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	3	Preset3	

### 3-2 PTZ ツアー

登録したプリセットポジションを巡回する設定をします

- (1) 設定画面右側のメニューから「チャンネル構成」－「PTZ 設定」－「PTZ ツアー」の順にクリックします。
- (2) PTZ ツアーを設定するカメラをチャンネルリスト① から選択します。
- (3) 「プリセットポジション」② 一覧から巡回させたい順にプリセットを選択し、「→」③をクリックし、「プリセットシーケンス」④へ移動させます。  
「プリセットシーケンス」からプリセットを選択し、「←」②をクリックすると「プリセットシーケンス」から削除されます。
- (4) 「プリセットシーケンス」欄のカメラ名をクリックして選択し、「↑」「↓」⑤をクリックすると巡回する順番が変更できます。
- (5) 巡回の切り替え時間を「滞留時間」⑥から選択します。  
1 秒/2 秒/3 秒/5 秒/10 秒/20 秒/30 秒/45 秒/60 秒から選択することが出来ます。
- (6) 「適用」⑦ をクリックします。

SystemK Corporation

NVR-204 ネットワークビデオレコーダ

メイン表示 | Googleマップモニター | ローカルマップモニター | 設定 | カメラステータス  
システム時刻: 11月 02, 2013 16:28:03  
ユーザ: admin

設定

- ☐ システム設定
- ☐ チャンネル構成
  - チャンネル設定
  - OSD(オンスクリーン表示)設定
- ☐ PTZ設定
  - PTZ-リセット
  - PTZ ツアー**
- ☐ イベント構成
- ☐ 録画設定
- ☐ システムオプション

PTZ ツアー

チャンネル: 2: M5014 ①

プリセットポジション:		プリセットシーケンス:
Preset1	→	Preset1
Preset2	←	Preset3
Preset3		

② ③ ④

⑤ ↑ ↓

⑥ 滞留時間: 20s

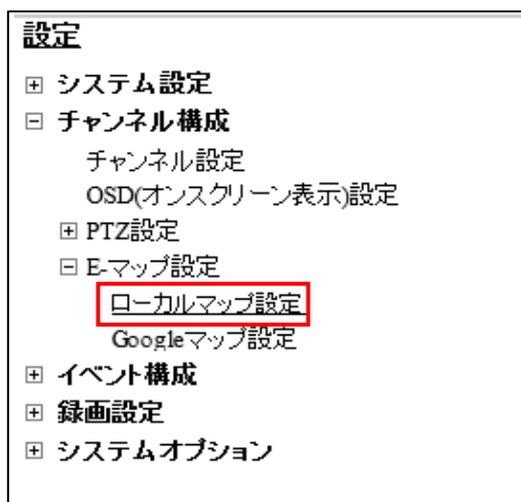
⑦ 適用 キャンセル

## 4 E-マップモニター

### 4-1 ローカルマップ設定

E-マップモニターを使用することで、マップ上にカメラ位置とカメラ映像を表示することが出来ます。

設定画面右側のメニューから「チャンネル構成」－「E マップ設定」－「ローカルマップ設定」の順にクリックします。



#### 4-1-1 マップ画像の変更

- (1) 「参照」① をクリックし、アップロードするマップ画像を選択します。  
※マップに使用できる画像形式は「jpg」、画像サイズは最大 500KB です。
- (2) 「アップロード」② をクリックし、マップ画像をアップロードします。

E-マップ: Home ▾ 編集

①

画像をアップロード:   ファイルサイズは、最大500KB)

②

マップ上にカメラを設置してください。:

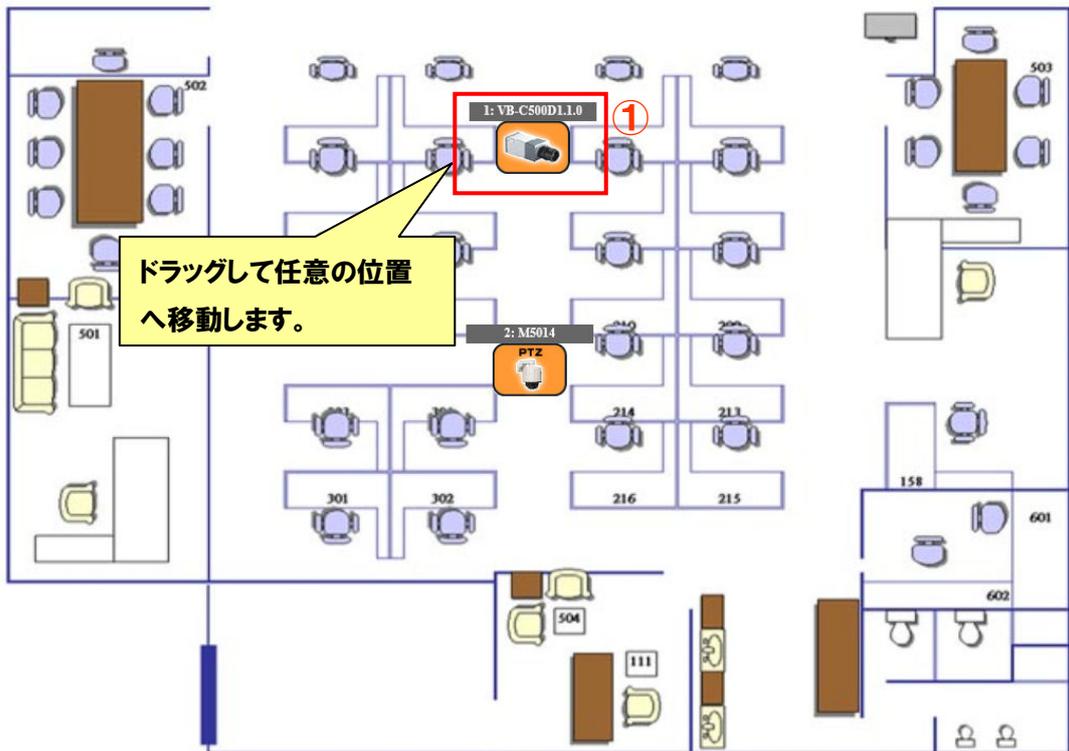
チャンネル 1       チャンネル 2       チャンネル 3       チャンネル 4

サブマップを作成してください。

#### 4-1-2 カメラアイコンの配置

- (1) カメラアイコンをドラッグし、マップ上の任意の場所へ移動します。
- (2) カメラリスト②のチェックを外すと、チェックを外したカメラはマップ上に表示されなくなります。
- (3) 最後に「適用」③ をクリックします。

エマップ: Home 編集



ドラッグして任意の位置へ移動します。

画像をアップロード: 参照... アップロード (ファイルサイズは、最大500KB)

マップ上にカメラを設置してください。

チャンネル 1     チャンネル 2     チャンネル 3     チャンネル 4 ②

サブマップを作成してください。

追加 削除

適用 ③

### 4-1-3 サブマップの追加

マップ上にサブマップを登録し、マップを階層表示することが出来ます。

- (1) 「作成」①をクリックします。
- (2) サブマップ名称を入力し、「更新」②をクリックします。
- (3) サブマップアイコン③をドラッグし、マップ上の任意の場所へ移動します。
- (4) 「適用」④ をクリックします。

E-マップ: Home ▾ 編集

ドラッグして任意の位置へ移動します。

2F

1: VB-C500D1.1.0

2: M5014 PTZ

502

501

212

211

210

209

214

213

216

215

302

158

601

602

504

111

画像をアップロード:  参照... アップロード (ファイルサイズは、最大500KB)

マップ上にカメラを設置してください。:

チャンネル 1     チャンネル 2     チャンネル 3     チャンネル 4

サブマップを作成してください。

追加 削除 マップ名:  更新 ②

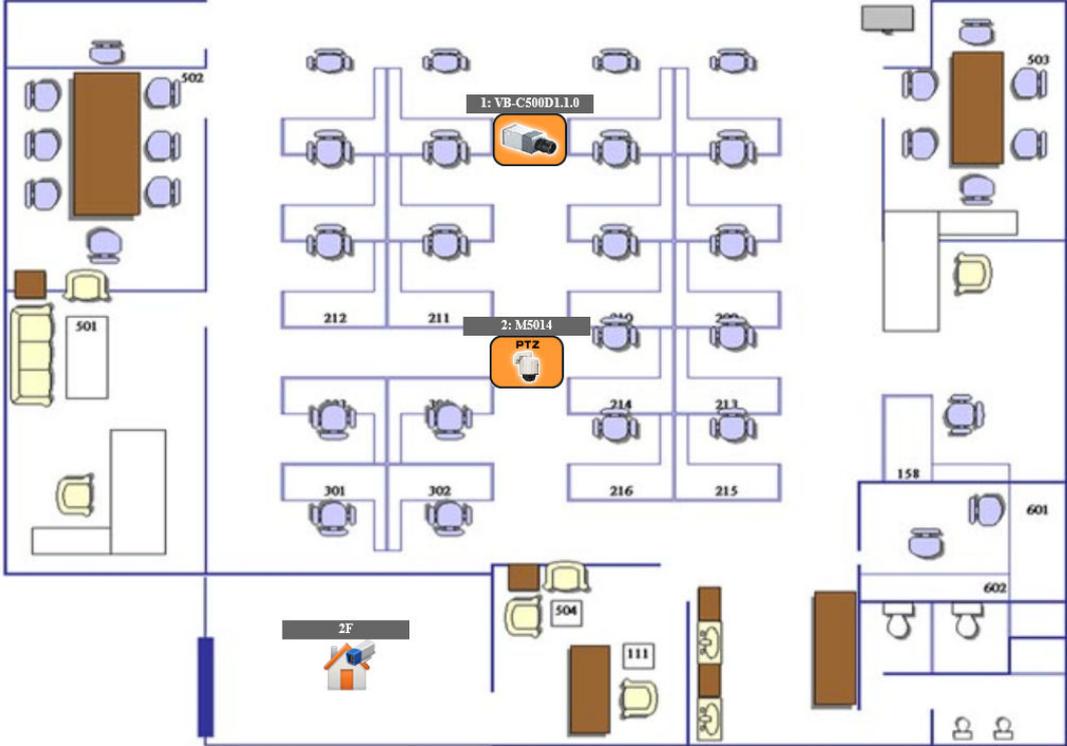
①

適用 ④

#### 4-1-4 サブマップの削除

- (1) サブマップリスト①から削除するサブマップを選択します。
- (2) 「削除」②をクリックします。

E-マップ: Home ▾ 編集



画像をアップロード:  参照... アップロード (ファイルサイズは、最大500KB)

マップ上にカメラを配置してください:

チャンネル 1     チャンネル 2     チャンネル 3     チャンネル 4

サブマップを作成してください:

2F

①

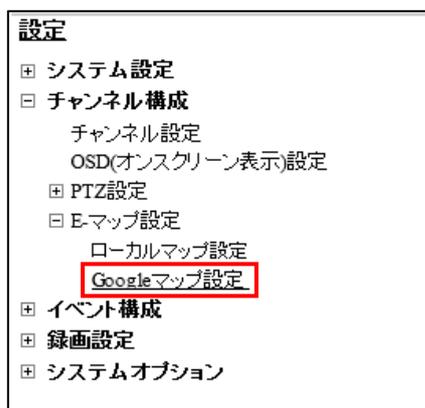
②

## 4-2 Google Map 設定

Google Map を利用して地図上にカメラを配置することができます。

広域の複数拠点にカメラを設置している場合、このマップ機能を有効に活用することができます。

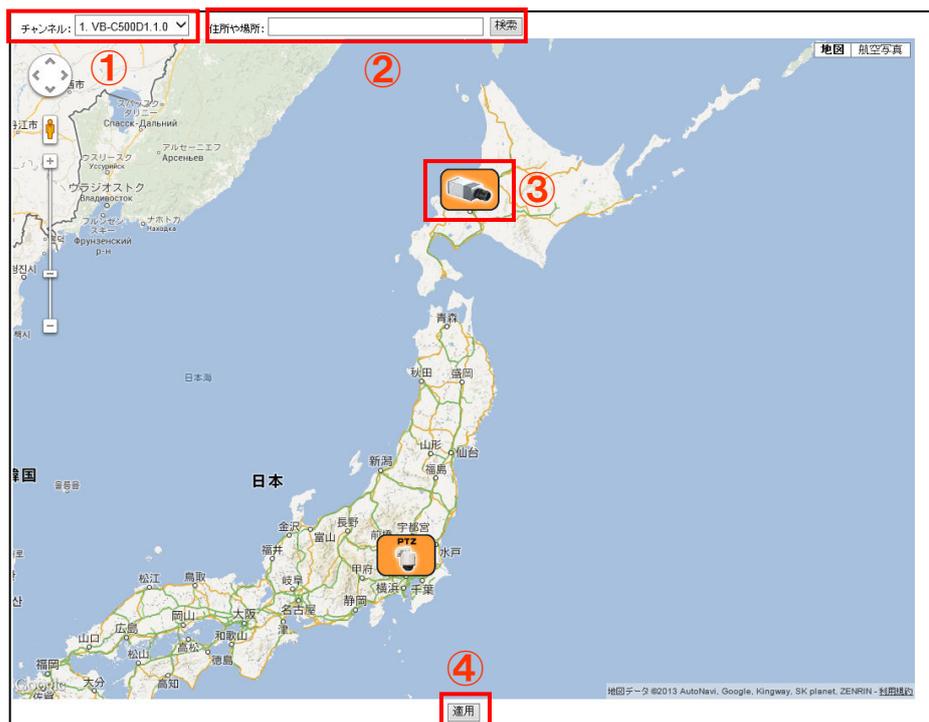
設定画面右側のメニューから「チャンネル構成」－「E マップ設定」－「ローカルマップ設定」の順にクリックします。



※Google Map を利用する場合は、NVR をインターネットと接続しているネットワークに設置する必要があります。

#### 4-2-1 カメラ設置場所の地図検索

- (1) チャンネルリスト①から配置するカメラを選択します。
- (2) 設置場所の住所を入力し、「検索」②をクリックします。  
地図表示とカメラアイコンが指定した位置に自動で移動します。  
カメラアイコン③をドラッグして、手動で任意の位置へ配置する事も出来ます。
- (3) 「適用」④をクリックします。

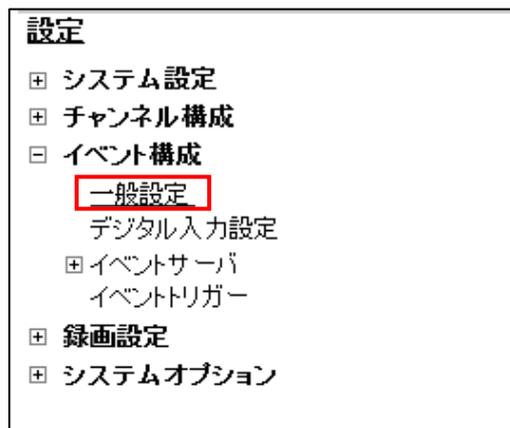


## 5 イベント構成

### 5-1 一般設定

イベントトリガーの基本的な設定を行います。

※イベントトリガーとはイベントの発生要因のことです。



- (1) 設定画面右側のメニューから「イベント構成」－「一般設定」の順にクリックします。
- (2) イベントトリガー有効期間①を設定します。  
 イベントトリガー有効期間はイベントトリガーが動作する時間帯の設定です。  
 ※イベントトリガーの有効期間の設定は、モーション検知とカメラの I/O のイベントのみ有効となります。その他のイベントは、常時有効となります。  
 ※初期状態は常時が選択されています。
- (3) イベントトリガー間隔②を設定します。  
 イベントトリガー間隔はイベント発生後、次のイベントを検知するまでの間隔の設定です。  
 ※イベントトリガー間隔の設定可能範囲は 5 秒～86400 秒です。
- (4) トリガーアクションを設定します。  
 イベントが発生した際に連動して、メール送信や FTP でメッセージと画像を送信します。  
 ※予め「イベントトリガー」－「トリガーアクション」設定及び、「SMTP サーバ」（電子メールの場合）または「FTP サーバ」（FTP の場合）の設定が必要です。
  - (4-1) 「件名」③に任意の文字を入力します。（半角英数のみ。オプション入力）
  - (4-2) メッセージの送信④にチェックを付けると、イベント発生時にメッセージが送信されます。  
 送信するメッセージをテキスト欄⑤に入力します。（半角文字のみ）  
 FTP で送信するファイル名を FTP ファイル名欄⑥に入力します。（半角文字のみ）
  - (4-3) イメージの送信⑦にチェックを付けると、イベント発生時に画像が送信されます。  
 送信する画像ファイル名をファイル名欄⑧に入力します。（半角文字のみ）
- (4) 「適用」⑨をクリックします。

● イベント情報タグ

イベントが発生したチャンネルの ID を送信する場合は「\$EVT\_CH\$」と入力します。

発生したイベントの種類を送信する場合は「\$EVT\_NAME\$」と入力します。

イベントが発生した時間を送信する場合は「\$EVT\_DATE1\$」と入力します。

※このタグは組み合わせて設定することが出来ます。

一般設定 ヘルプ

イベントトリガー有効時間

常時 ①  
 指定期間のみ: 日 月 火 水 木 金 土  
 終日 開始時刻: 00:00 終了時刻: 00:00

イベントトリガー間隔

間隔: 5 秒 (5-86400) ②

トリガーアクション

件名: \$EVT\_DATE1\$ \$EVT\_CH\$ \$EVT\_NAME\$ ③

メッセージの送信 ④

テキスト:   
 ⑤

FTP ファイル名:   
 ⑥

イメージの送信 ⑦

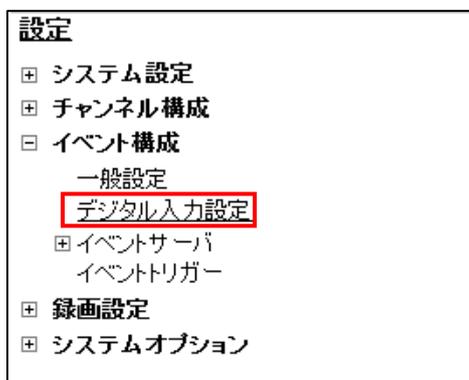
ファイル名:   
 ⑧

⑨

## 5-2 デジタル入力設定

カメラに搭載されているデジタル入力接点の設定を行います。

- (1) 設定画面右側のメニューから「イベント構成」－「デジタル入力設定」の順にクリックします。



- (2) 接点信号が入力されるカメラのポートと信号の状態を「トリガーイベント発生時」欄①に設定します。

カメラにデジタル接点入力ポートがない場合、ポートと状態が「-----」と表示されます。

● ポートの状態

Open : 「開放」 → 「High」, 「Ground to Open」, 「Rising」

Ground : 短絡 (ショート) → 「Low」, 「Open to Ground」, 「Falling」

Change : 開放と短絡が切り替わった時

※カメラの機種により対応していない状態があります。

- (3) 「適用」②をクリックします。

	トリガーイベント発生時	
	カメラ	
	ポート	状態
チャンネル 1	Disable ▼	Disable ▼
チャンネル 2	-----	-----
チャンネル 3	Disable ▼	Disable ▼
チャンネル 4	-----	-----

①

適用 ②    キャンセル

### 5-3 イベントサーバ

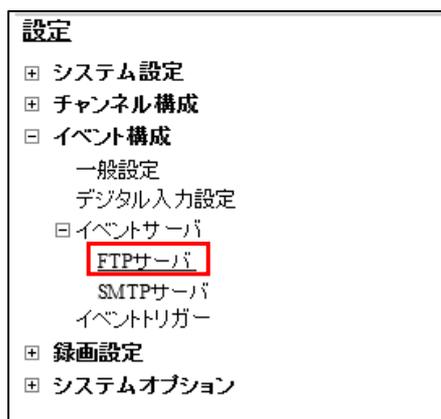
イベントが発生した時に使用するサーバ情報を登録します。

#### 5-3-1 FTP サーバ

イベントが発生した時に画像を転送する先の FTP サーバの設定をします。

※通常は「パッシブモードを使用」にチェックを入れます。

- (1) 設定画面右側のメニューから「イベント構成」－「イベントサーバ」－「FTP サーバ」の順にクリックします。



- (2) FTP サーバ欄①にサーバ名称、ネットワークアドレス、ポートを入力します。
- (3) ログイン情報欄②にユーザ認証情報を入力します。
- (4) パッシブモードを使用する場合は「パッシブモードを使用」③のチェックを付けます。
- (5) アップロードパス④にテスト送信するアップロードパスを入力し、「テスト」⑤をクリックして FTP テスト送信します。

エラーが発生した場合は、手順 2～5 の設定項目を確認し修正します。

- (6) テストが OK の場合は、「追加」⑥をクリックします。

The image shows the 'FTPサーバ設定' (FTP Server Settings) form. It contains the following sections and fields:
 

- FTPサーバ設定** (FTP Server Settings)
  - Header: 名称 (Name), ネットワークアドレス (Network Address), ポート (Port), パッシブモード (Passive Mode)
  - Buttons: 編集 (Edit), 削除 (Delete)
- FTPサーバ** (FTP Server)
  - 名称 (Name): [Input field]
  - ネットワークアドレス (Network Address): [Input field] \*ドメイン名またはIPアドレスを入力 (Enter domain name or IP address)
  - ポート (Port): 21
- ログイン情報** (Login Information)
  - ユーザ名 (Username): [Input field]
  - パスワード (Password): [Input field]
- パッシブモード** (Passive Mode)
  - パッシブモードを使用 (Use passive mode)
- テスト** (Test)
  - アップロードパス (Upload Path): [Input field]
  - 「テスト」をクリックするとFTPサーバへの接続テストを行います。 (Clicking 'Test' performs a connection test to the FTP server.)
  - テスト (Test) button
- 追加** (Add) button

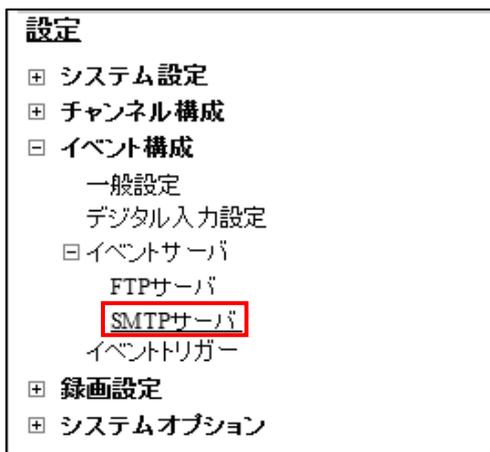
 Red boxes and numbers 1-6 highlight the following elements:
 

- FTP Server fields (Name, Network Address, Port)
- Login Information fields (Username, Password)
- Passive Mode checkbox
- Upload Path input field
- Test button
- Add button

### 5-3-2 SMTP サーバ

イベントが発生した時にメールを送信する際に使用する SMTP サーバの設定をします。

- (1) 設定画面右側のメニューから「イベント構成」－「イベントサーバ」－「SMTP サーバ」の順にクリックします。



- (2) SMTP サーバ 1 欄①、SMTP サーバ 2 欄②に設定する SMTP サーバの情報を入力します。  
SMTP サーバ 2 の設定は、SMTP サーバ 1 が使用できない場合、バックアップ用のメールサーバー設定となります。
- (3) 「テストメールの送信先メールアドレス」欄③④にテストメールを送信するアドレスを入力し、「送信」⑤⑥ボタンをクリックしてテストメールの送信をします。
- (4) メールを受信が確認できなかった場合は、設定項目を確認し修正します。
- (5) テストが OK の場合は、「適用」⑦をクリックします。

#### ※ SMTP サーバ設定内容

設定項目	記入内容	備考
ネットワークアドレス	ホスト名またはメールアドレス	
ポート	ポート番号	初期値：25
送信元名	任意で記入（文字数 10 文字以内）	未入力の場合、エラー表示されます
送信元メールアドレス	任意のメールアドレス	

### SMTPサーバ設定

#### SMTPサーバ 1

ネットワークアドレス:  \*ドメイン名またはIPアドレスを入力

ポート:

送信元名:

送信元メールアドレス:

認証を有効にする:

ユーザ名:

パスワード:

#### テスト

③ テストメールの送信先メールアドレス:  送信 ⑤

#### SMTPサーバ 2

ネットワークアドレス:  \*ドメイン名またはIPアドレスを入力

ポート:

送信元名:

送信元メールアドレス:

認証を有効にする:

ユーザ名:

パスワード:

#### テスト

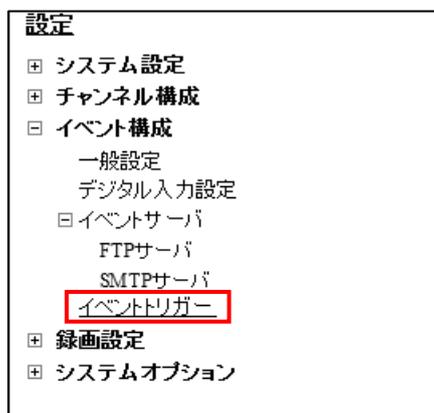
④ テストメールの送信先メールアドレス:  送信 ⑥

適用 ⑦    キャンセル

## 5-4 イベントトリガー

NVR やカメラのイベント時の動作を設定します。

設定画面右側のメニューから「イベント構成」－「イベントトリガー」の順にクリックします。



### 5-4-1 カメラトリガー発生要因 (①)

(1) カメラ側で発生したイベントをトリガーに録画行うか設定します。

- ・I/O 入力: カメラ本体の I/O ポートに入力された接点信号をトリガーとして使用する場合にチェックを入れます。
- ・モーション検知: カメラ本体のモーション検知機能で検知された動きをトリガーとして使用する場合にチェックを入れます。
- ・CMS 検知: 統合管理ソフトでインテリジェント機能を登録すると自動的にチェックが付きます。統合管理ソフトでイベントが発生した際に NVR でもイベント録画を開始します。

※「モーション検知」の設定を行う場合は、予めカメラのモーション検知機能を有効にして下さい。

※カメラ側に複数の検知エリアを設定できる機種でも、NVR では最初に設定したエリアのみ有効となります。

※NVR で「モーション検知」の設定を行うと、カメラ本体側の設定も変更される場合があります。カメラを本製品以外のソフトウェアで利用している場合は、ご注意下さい。

※「I/O 入力」と「モーション検知」両方を使用することもできます。

### 5-4-2 NVR トリガー発生要因 (②)

(1) NVR 本体の動作をトリガーとして使用する場合にチェックを入れます。

※カメラの死活監視を有効とする場合は「カメラ接続状態の変更」にチェックを入れて下さい。

カメラの接続状態が途切れた時と再接続した時にイベントトリガーが発生します。

### 5-4-3 トリガーアクション (③)

(1) 「5-4-1 カメラトリガ発生要因」または「5-4-2 NVR トリガー発生要因」によるトリガーが発生した際のアクションを設定します。

**E メール**：メールにてメッセージと画像を送信する場合にチェックを入れます。

※「イベント構成」－「イベントサーバー」－「SMTP サーバ」にサーバ情報が登録されている必要があります。

**FTP**：FTP でテキストファイルと画像を送信する場合にチェックを入れます。

※「イベント構成」－「イベントサーバー」－「FTP サーバ」にサーバ情報が登録されている必要があります。

**特定のプリセットに移動**：予め設定したプリセットポジションにカメラを向ける場合にチェックを入れます。

※プリセット位置の設定については p56「3-1-5 ホームポジション、イベント発生時プリセットポジションの設定」を参照してください。

イベント 取り扱い設定				
<b>カメラトリガ発生要因</b>				
<b>通知:</b>				
NVRのモーション検知機能を有効にする前に、カメラの設定画面でモーション検知エリアを正しく設定してください。またNVRがサポートするモーション検知エリアは一つです。カメラに複数の検知エリアを設定した場合は最初に設定した領域だけが有効となります。				
	1	2	3	4
IO 入力	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
モーション検知	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
CMS検知	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
<b>NVRトリガ発生要因</b>				
<input type="checkbox"/> ディスクエラー	<input type="checkbox"/> 上書き録画			
<input type="checkbox"/> NVR起動	<input type="checkbox"/> システム設定の変更			
<input type="checkbox"/> チャンネル設定の変更時	<input type="checkbox"/> カメラ接続状態変更時			
<input type="checkbox"/> ハードディスク空き領域 <input type="text" value="875"/> GB以下(ハードディスク再利用機能が無効の場合は、2GB以上の値を指定)				
<input type="checkbox"/> システム温度異常を検出				
<b>トリガーアクション</b>				
<input checked="" type="checkbox"/> <b>Eメール:</b>	Eメール アドレス:	<input type="text"/>	*複数の送信先は","コンマで区切ります	
<input checked="" type="checkbox"/> <b>FTP:</b>	アップロードパス:	<input type="text"/>		
<input type="checkbox"/> <b>特定のプリセットポイントに移動</b>				
				<input type="button" value="適用"/>

## 5-4-4 適用 (④)

(1) 全ての設定が完了したら「適用」をクリックします。

イベントトリガー発生要因	
NVR 本体の動作・システム変更	上書き録画
	ディスク空き領域
	ディスクエラー
	NVR 起動
	システム設定の変更
	チャンネル設定の変更時
	システム温度異常を検出
カメラ MD(モーション検知)	画像変化
カメラと NVR の疎通確認	接続不可、再接続

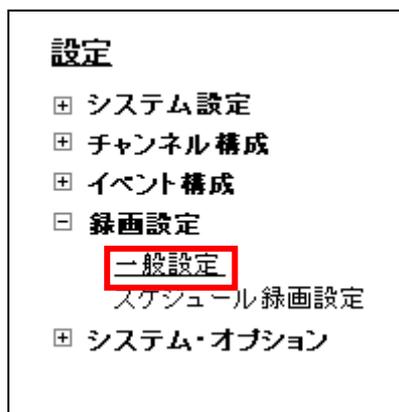
トリガーアクション対象	アクション内容
SMTTP サーバ	メッセージ、画像送信
FTP サーバ	メッセージ、画像送信
特定プリセットポイントに移動	プリセット位置へのカメラ移動

## 6 録画設定

### 6-1 一般設定

録画設定の基本的な設定を行います。

設定画面右側のメニューから「録画設定」→「一般設定」の順にクリックします。



### 6-1-1 録画バッファ (①)

イベント発生時を起点にイベント発生前とイベント発生後の録画時間を設定します。

- ・ プリアラームバッファ：イベント発生時からさかのぼって録画する秒数を指定します。  
※プリアラームバッファの秒数は 0～10 秒を 1 秒単位で入力します。
- ・ ポストアラームバッファ：イベント発生時から後に録画する秒数を指定します。  
※ポストアラームバッファの秒数は 5～60 秒を 1 秒単位で入力します。

### 6-1-2 録画フレームレート (②)

各チャンネルの録画方式別の録画フレームレートを設定します。

※手動録画とイベント録画のフレームレートが異なる場合、手動録画中にイベントが発生すると手動録画のフレームレートが優先されます。

フレームレートの優先順位は、手動録画>イベント録画>スケジュール録画>連続録画となります。

### 6-1-3 ハードディスク領域の再利用 (③)

ハードディスクの空き容量が 20GB 以下になると自動的に古い録画映像を削除する場合、チェックを付けます。

チェックを付けない場合は、空き容量が 0 になると録画が停止します。

### 6-1-4 画像保存制限 (④)

録画データを保存する日数を指定します。日数は 1～365 の間で設定してください。

指定した日数より前の録画データは 1 日 2 回(午前・午後 2 時前後)に全て消去されます。

尚、設定日数分の保存容量が搭載しているハードディスクの容量を上回る場合は指定日時分の保存ができません。

チェックをはずすと、保存期間の設定が無効になります。

(ハードディスクが一杯になるまで保存し、その後は上書き保存となります。)

### 6-1-5 カメラ録画設定 (⑤)

各チャンネルに録画形式を設定します。

連続：24 時間常時録画を行います。

スケジュール：設定した時間帯のみ録画を行います。

※時間帯の設定は、P77「6-2 スケジュール録画設定」を参照してください。

イベント：イベント発生前後の録画を行います。

※イベントの設定は、P67「5-2 デジタル入力設定」のトリガイイベント発生時の設定と、

P71「5-4 イベントトリガー」のカメラトリガ発生要因の設定によって自動的に選択されます。

### 6-1-6 録音 (⑥)

各チャンネルの録音の有無を設定します。

※音声非対応のカメラの場合でも録音のチェック可能ですが、チェックがついていても録音対応はできません。

### 6-1-7 適用 (⑦)

全ての設定が終わったら「適用」をクリックします。

**録画一般設定**

録画バッファ

プリアラームのバッファ:  秒 (0-10) ①

ポストアラームのバッファ:  秒 (5-60)

録画フレームレート

チャンネル: 1-4

	1	2	3	4
圧縮方式	ライブビューと同じ ▼	ライブビューと同じ ▼		
連続	Full ▼	Full ▼		
スケジュール	Full ▼	Full ▼		
イベント	Full ▼	Full ▼		
手動	Full ▼	Full ▼		

ハードディスク領域の再利用

再利用する(ハードディスク空き領域が20GB以下になった場合に自動的に再利用を開始します。1度の再利用で32GB使用します。) ③

画像保存制限

日前までの録画映像を保存 ④

カメラ録画設定

	1	2	3	4
連続	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		
スケジュール	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
イベント	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		

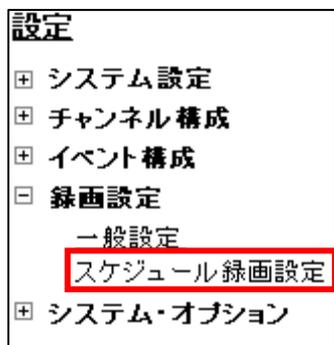
録音

	1	2	3	4
録音	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		

⑦ 適用 キャンセル

## 6-2 スケジュール録画設定

- (1) 設定画面右側のメニューから「録画設定」－「スケジュール録画設定」の順にクリックします。



- (2) チャンネルリスト①からスケジュールを設定するカメラを選択します。
- (3) 「クイック設定」② 欄で曜日と録画時間を指定します。  
※ 20時から3時の様に0時をまたいでの指定はできません。
- (4) 「追加」③ をクリックすると「スケジュールテーブル」④欄に設定した曜日・日時が反映されます。  
録画有効になっている時間は黒く塗りつぶされて表示されます。  
なお、スケジュールテーブルを直接クリックすることにより、録画の有効／無効を設定することが出来ます。
- (5) 「選択したチャンネルにスケジュールをコピー」⑤欄でチャンネルを選択し「適用」⑦ をクリックすると指定したチャンネルにコピーすることができます。
- (6) 「すべてのチャンネルにスケジュールを適用」⑥をクリックすると、全てのチャンネルに同じスケジュール設定されます。
- (7) 「適用」⑦をクリックします。

スケジュール録画設定

チャンネル: 1.VB-C500D1.1(▼) ①

スケジュールテーブル

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
日																								
月																								
火																								
水																								
木																								
金																								
土																								

クリア

クイック設定

曜日:  
日 月 火 水 木 金 土 すべて

録画時間:  
終日  
指定期間のみ 開始時刻: 09:00 終了時刻: 18:00

③ 追加

選択したチャンネルにスケジュールをコピー: ▼ ⑤

⑥ すべてのチャンネルにスケジュールを適用 適用 キャンセル

⑦

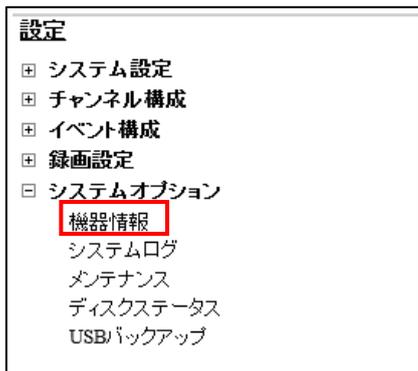
## 7 システムオプション

本機器のシステム状態を確認することが出来ます。

### 7-1 機器情報

本製品の機器情報を表示します。

設定画面右側のメニューから「システムオプション」→「機器情報」の順にクリックします。



本機器のモデル名、ファームウェアのバージョン、起動時間、ネットワーク設定情報が確認出来ます。

一般情報	
NVR名:	
モデル名:	NVR-204
ファームウェアのバージョン:	1.3.2.64630
システム起動時刻:	10月 24, 2013 17:35:58

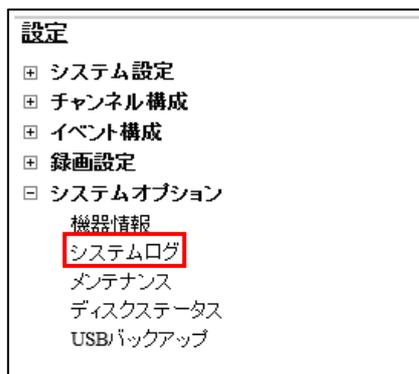
  

ネットワーク情報	
ネットワークタイプ:	固定IP
機器のIPアドレス:	192.168.101.10
HTTPポート:	80
ストリーミングポート:	9877
MACアドレス:	00:22:4E:F0:0F:3E
DHCPサーバ:	無効
UPnPポート開放:	無効

## 7-2 システムログ

本機器のシステムログが表示されます。

設定画面右側のメニューから「システムオプション」－「システムログ」の順にクリックします。



### 7-2-1 システムログ閲覧

システムログにはアラート、イベント、ユーザアクセス情報などが表示されます。

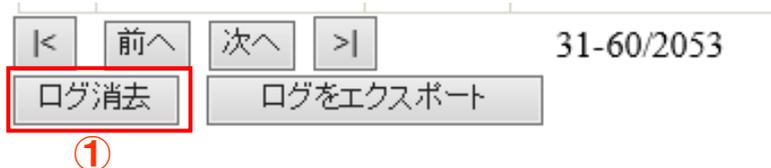
ID	時刻	タイプ	種類	CH	AP	IP	ユーザ
1	11月 02, 2013 17:39:46	ユーザ	ログイン		Web	192.168.101.222	admin
2	11月 02, 2013 17:39:45	サービス	設定ファイルを再読み込み				
3	11月 02, 2013 17:37:57	サービス	100日前より古いシステムログを自動削除しました				
4	11月 02, 2013 17:36:09	ユーザ	ログイン		Web	192.168.101.222	admin
5	11月 02, 2013 17:36:08	サービス	設定ファイルを再読み込み				
6	11月 02, 2013 16:54:46	ユーザ	ログアウト		Web Event Receiver	192.168.101.222	admin
7	11月 02, 2013 16:54:43	ユーザ	ログイン		Web Event Receiver	192.168.101.222	admin
8	11月 02, 2013 16:54:06	ユーザ	ログイン		Web	192.168.101.222	admin
9	11月 02, 2013 16:54:04	サービス	設定ファイルを再読み込み				
10	11月 02, 2013 16:45:18	ユーザ	ログイン		Web	192.168.101.222	admin
11	11月 02, 2013 16:45:16	サービス	設定ファイルを再読み込み				
12	11月 02, 2013 15:35:10	ユーザ	ログイン		Web	192.168.101.222	admin
13	11月 02, 2013 15:35:06	サービス	設定ファイルを再読み込み				
14	11月 02, 2013 15:34:54	ユーザ	ログイン		Web	192.168.101.222	admin
15	11月 02, 2013 15:34:51	サービス	設定ファイルを再読み込み				
16	11月 02, 2013 15:34:37	ユーザ	ログイン		Web	192.168.101.222	admin
17	11月 02, 2013 15:34:32	サービス	設定ファイルを再読み込み				
18	11月 02, 2013 15:28:56	チャンネル	カメラ接続	2			
19	11月 02, 2013 15:28:48	サービス	設定ファイルを再読み込み				
20	11月 02, 2013 15:09:15	ユーザ	ログアウト		Web Event Receiver	192.168.101.222	admin
21	11月 02, 2013 15:09:12	ユーザ	ログイン		Web Event Receiver	192.168.101.222	admin
22	11月 02, 2013 15:08:48	チャンネル	カメラ接続	1			
23	11月 02, 2013 15:08:41	サービス	設定ファイルを再読み込み				
24	11月 02, 2013 14:51:15	ユーザ	ログアウト		Web Event Receiver	192.168.101.222	admin
25	11月 02, 2013 14:51:13	ユーザ	ログイン		Web Event Receiver	192.168.101.222	admin
26	11月 02, 2013 14:51:10	ユーザ	ログイン		Web	192.168.101.222	admin
27	11月 02, 2013 14:39:48	サービス	設定ファイルを再読み込み				
28	11月 02, 2013 14:39:42	サービス	設定ファイルを再読み込み				
29	11月 02, 2013 14:39:35	サービス	設定ファイルを再読み込み				
30	11月 02, 2013 14:39:29	サービス	設定ファイルを再読み込み				

1-30/2010

- (1) 「前へ」①をクリックすると前のページへ、「次へ」②をクリックすると次のページに移動します。  
 「|<」③をクリックすると最初のページへ、「>|」④をクリックすると最後のページへ移動します。



- (2) 「ログ消去」①をクリックすると、保存されているログが消去されます。



## 7-2-2 システムログのエクスポート

本機器に保存されているログのエクスポート（ダウンロード）が行えます。

- (1) 「ログをエクスポート」①をクリックします。



- (2) ログの出力範囲②を選択します。

「特定の時間のログをエクスポートする」を選択した場合は、出力開始時間と終了時間③を入力します。

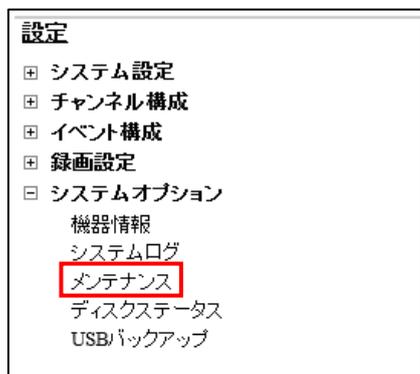
- (3) 「開始」④をクリックします。

The screenshot shows the log export configuration interface. It has two radio button options: 'すべてのログをエクスポートする' (Export all logs) and '特定の時間のログをエクスポートする' (Export logs for a specific time). The second option is selected and highlighted with a red box and labeled ②. Below these are two rows for '開始時刻' (Start time) and '終了時刻' (End time), each with a date dropdown (set to 11月 04, 2013) and a time dropdown (set to 00 : 09 : 52). A '開始' (Start) button is located at the bottom left, highlighted with a red box and labeled ④. A circled number 3 is placed below the time dropdowns.

### 7-3 メンテナンス

本製品の設定の初期化などメンテナンスを実行できます。

設定画面右側のメニューから「システムオプション」－「メンテナンス」の順にクリックします。



#### 7-3-1 NVR 再起動

本製品を再起動する場合は「再起動」①をクリックします。

#### 7-3-2 カメラの再起動

再起動するカメラを選択し、「再起動」③をクリックすると指定したカメラが再起動します。

#### 7-3-3 NVR ファームウェアのアップグレード

弊社 Web サイトにて配布しているファームウェアにアップデートします。

※アップデート中は電源を絶対にオフにしないでください。途中で電源をオフにした場合、システムが起動しなくなる場合があります。この場合は保証対象外となります。

※アップデートを行う前に NVR の設定ファイルのバックアップを取ることをお勧めします。

※ファームウェアのダウングレードは出来ませんので、ご注意ください。

(1) 「ファームウェアファイルを指定」④ 欄の「検索」をクリックしてファームウェアファイルを指定します。

(2) 「アップグレード」⑤をクリックします。

ファームウェアのアップデートには 2～5 分程度かかる場合があります。

#### 7-3-4 NVR の設定ファイルをバックアップ

「バックアップ」⑥をクリックすると、本製品の現在の設定をバックアップファイルとしてダウンロード出来ます。

### 7-3-5 NVR の修復

予めダウンロードしたバックアップファイルを適用し、バックアップした時点の設定に復元します。

- (1) 「設定ファイルの指定」⑦ 欄の「検索」ボタンをクリックし、あらかじめ保存したバックアップファイルを指定します。
- (2) 「修復」⑧をクリックします。

※修復を行っている間は電源をオフにしないでください。途中で電源をオフにした場合、システムが起動しなくなる場合があります。この場合は保証対象外となります。

※修復を行った場合、ネットワーク設定はオートモードに変わります。

付属 CD の「NVR 検索」で NVR を検出して下さい。

### 7-3-6 工場出荷時の状態にリセット

本製品の設定を工場出荷時の設定にリセットします。

- (1) 「復旧工場出荷時に戻す」⑨ ボタンをクリックします。

※リセットを行っている間は電源をオフにしないでください。途中で電源をオフにした場合、システムが起動しなくなる場合があります。この場合は保証対象外となります。

### 7-3-7 NVR のウェブ UI のロゴを変更

画面右上に表示されているロゴを変更することが出来ます。

- (1) 「検索」⑩をクリックし、ロゴファイルを指定します。
- (2) 「画像をアップロード」⑪をクリックします。

※ロゴで使用可能な画像形式は「GIF」で画像サイズは 160(幅)×65(高さ)ピクセル以内です。

メンテナンス

---

**NVR再起動**

再起動ボタンをクリック

①

---

**カメラの再起動**

カメラを選択して「再起動」をクリックしてください

②

---

**NVRファームウェアのアップグレード**

新しいファームウェアを指定し、アップグレードを実行します。(現在のファームウェアバージョン: 1.3.2.64630)

ファームウェアファイルを指定    ③ ④

注意: 注意: ファームウェアをアップグレードしている間は電源をオフにしないで下さい。アップグレードが完了すると通知されます。

---

**NVRの設定ファイルをバックアップ**

ローカルのディスクに設定内容をバックアップします

⑤

---

**NVRの修復**

保存されているバックアップ用の設定ファイルを使用し、設定を修復してください。

設定ファイルの指定    ⑥ ⑦

注意: 復旧している間は電源をオフにしないで下さい。復旧が完了すると通知されます。

---

**工場出荷時の状態にリセット**

すべての設定内容を工場出荷時の設定値に戻します。

⑧ DHCP サーバからIPアドレスを取得できない場合は、工場出荷時の固定IPアドレス(192.168.101.50)でアクセスしてください。

注意: リセットしている間は電源をオフにしないで下さい。完了すると通知されます。

---

**NVRのウェブUIのロゴを変更**

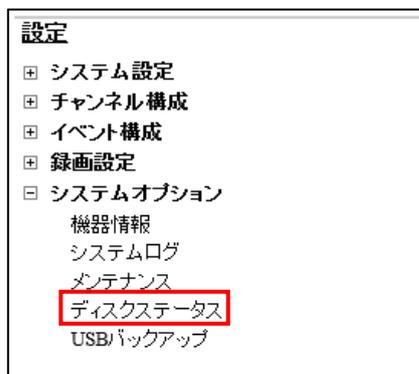
新しいロゴのファイルを指定してロゴを変更

ロゴのファイルを指定してください    ⑨ ⑩

## 7-4 ディスクステータス

本製品に搭載されているハードディスクの使用状況を確認できます。

設定画面右側のメニューから「システムオプション」－「ディスクステータス」の順にクリックします。



ディスクの空き容量や録画期間などの情報が確認出来ます。

ディスクステータス							
ディスクID	ステータス	容量	ディスクの空き容量	ディスクの空きパーセント	システム起動時刻	録画期間	推定残り録画時間
内部_1	正常	937GB	671GB	71%	10月 24 2013 17:35:58	10月 25 2013 13:35:53 - 11月 4 2013 00:31:28	23日 20時

推定残り録画期間は以下の計算式で算出した保存目安日数を表示しています。

計算式：(録画時間 ÷ 実際使用したディスク容量(GB)) × 残りディスク容量(GB)

※HDD フォーマット後、1時間経過しないと推定残り録画期間は表示されません。

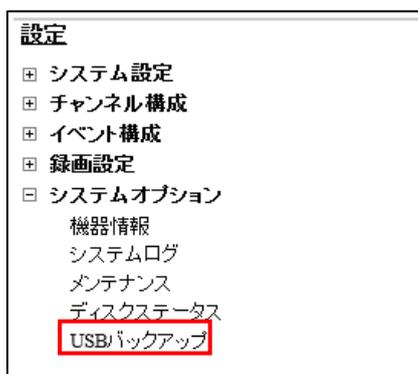
なお、録画設定の内容(イベント録画、連続録画、スケジュール録画)や被写体により、録画データ容量が一定増加とならないため、推定残り録画期間も変動します。

## 7-5 USB 接続バックアップ

本製品の USB ポートに USB 接続ストレージを接続し、保存されている録画映像をバックアップすることが出来ます。

※予め接続する USB 接続ストレージを FAT32 でフォーマットします。

(1) 設定画面右側のメニューから「システムオプション」－「ディスクステータス」の順にクリックします。



(2) USB 接続ストレージを NVR 前面または背面の USB ポートに接続します。

(3) NVR が USB 接続ストレージを認識すると USB HDD 欄①にストレージ情報が表示されます。

※同時にバックアップできる USB 接続ストレージは 1 つのみです。

(2) バックアップするデータ形式②を選択します。

(3) バックアップするチャンネル③にチェックを付けます。

(4) バックアップする開始時間と終了時間④を指定します。

(5) 「バックアップ」⑤をクリックします。

バックアップデータは、付属 CD の NVR Media Player で再生することが出来ます。

※NVR Media Player は最新版をご使用下さい。

最新版の NVR Media Player は <http://nvr.bz/catalogdl.html> からダウンロード下さい。

**USBバックアップ**

USB HDD: ① ▼ ※バックアップを行う前に、WindowsPCでFAT32でHDDをフォーマットしてください

出力形式: ② メディアデータベース ▼

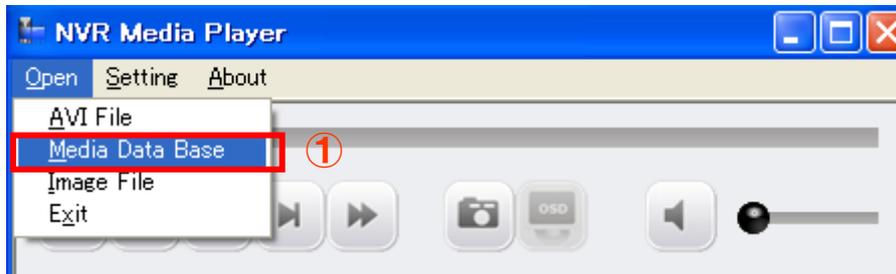
チャンネル: ③  VB-C500D1.1.0  M5014  チャンネル 3  チャンネル 4

開始時刻: ④ 11月 02, 2013 ▼ 18:37:17 ▲ ▼ ▲ ▼

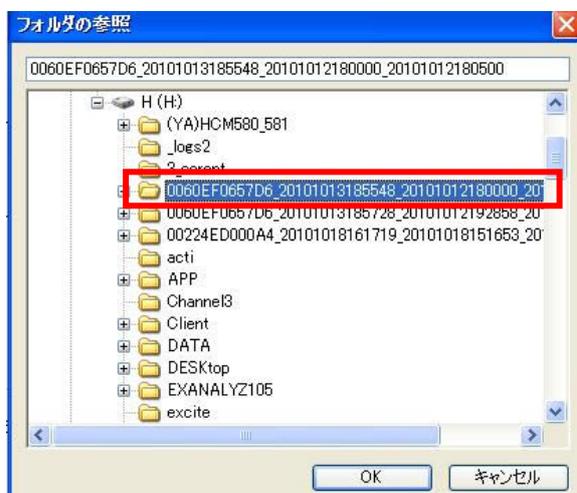
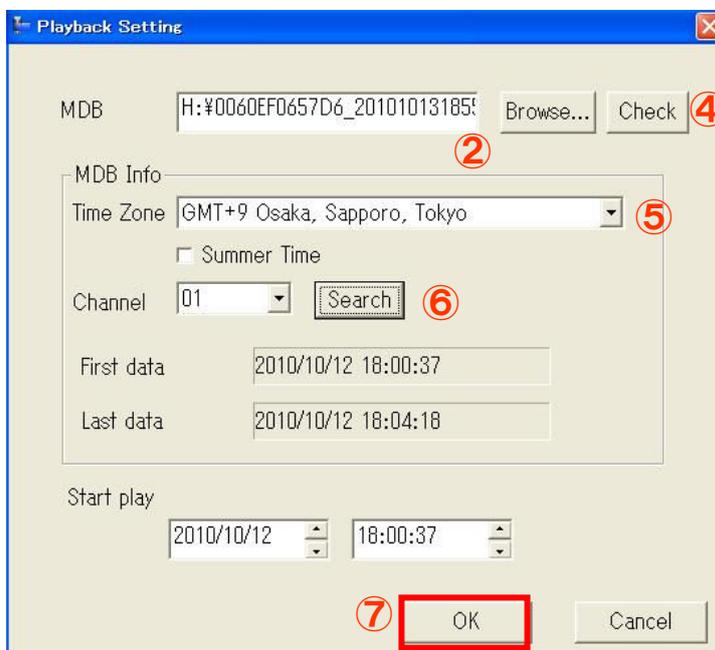
終了時刻: 11月 02, 2013 ▼ 18:37:17 ▲ ▼ ▲ ▼

バックアップ ⑤

## 7-6 NVR Media Player の使用方法



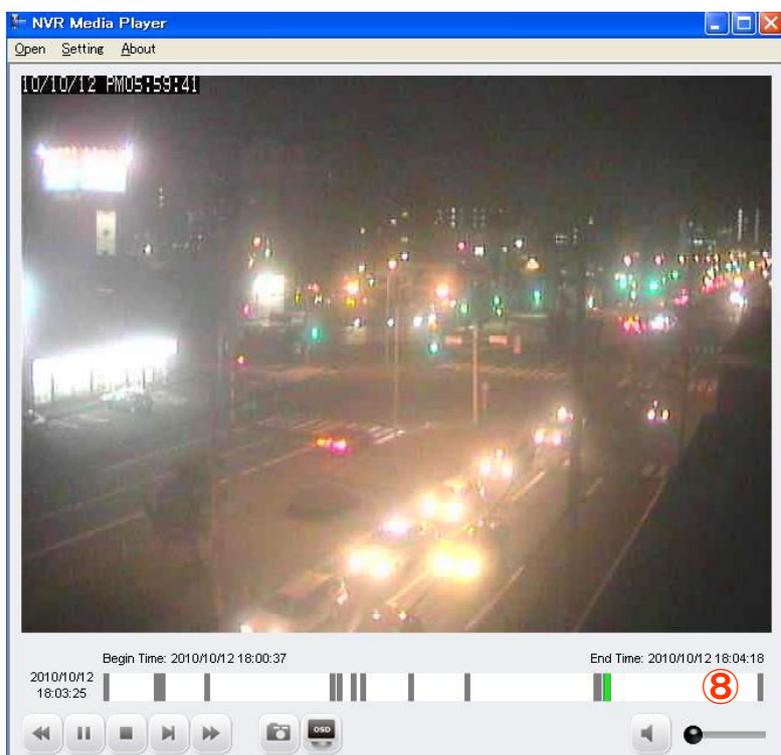
- (1) メニューから①Open>Media Data Base をクリックします。
- (2) 下記画面が表示されるので②「Browse」ボタンをクリックして出力したデータフォルダを検索します。



- (3) メディアデータ③が検索されたら OK ボタンをクリックします。
- (4) 次に④の「Check」ボタンをクリックしてデータを確認します。確認出来たら下記メッセージが表示されます。



- (5) ⑤から「Time Zone」を選択します。(※日本国内の場合は GMT+9 を選択します)
- (6) 次に⑥の「Search」ボタンをクリックするとデータの情報が表示されます。
- (7) 最後に⑦「OK」ボタンをクリックすると下記画面が表示され、再生が可能となります。
- (8) ⑧の欄のグレーで表示される箇所をクリックすると再生が始まります。



## 付録

### 製品仕様

本製品の仕様につきましては付属 CD 内のデータシートでご確認ください。

## Axis241Q ビデオサーバのイベント録画手順

Axis ビデオサーバ 241Q の各カメラを NVR に登録する場合、ビデオサーバのモーショントリガー設定はデフォルトでビデオ 1 に設定されます。

ビデオサーバのビデオ 2 以降のカメラのモーショントリガーを設定する場合、下記手順で設定をしてください。（ビデオ 2 (CH2) に対応する場合を例として説明いたします。）

1. ビデオサーバのビデオ 2 を NVR に登録します。

2. イベント構成→イベントトリガー→カメラトリガ発生要因のモーション検知チェックボックスにチェックをしてモーションイベントを有効にしてください。

### イベント 取り扱い設定

#### カメラトリガ発生要因

**通知:**

NVRのモーション検知機能を有効にする前に、カメラの設定画面でモーション検知エリアを正しく設定してください。またNVRがサポートするモーション検知エリアは一つです。カメラに複数の検知エリアを設定した場合は最初に設定した領域だけが有効となります。

	1	2	3	4
IO 入力	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
モーション検知	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		
CMS検知	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		

#### NVRトリガ発生要因

- ディスクエラー                       上書き録画  
 NVR 起動                                   システム設定の変更

3.チャンネル構成→チャンネル設定→からビデオサーバのウェブページにアクセスします。

チャンネル設定

チャンネル	チャンネル名	IPアドレス	圧縮方式	解像度
1	VR-C500D1 1.0	192.168.101.101	mpeg4	640x480
2	241Q	192.168.101.102	jpeg	640x480

削除 編集

ここをクリックしてカメラを検索してください:

\*下記「新しいカメラの追加」から手動でカメラの設定をする場合は、このステップをスキップして、新しいカメラを追加することができます。

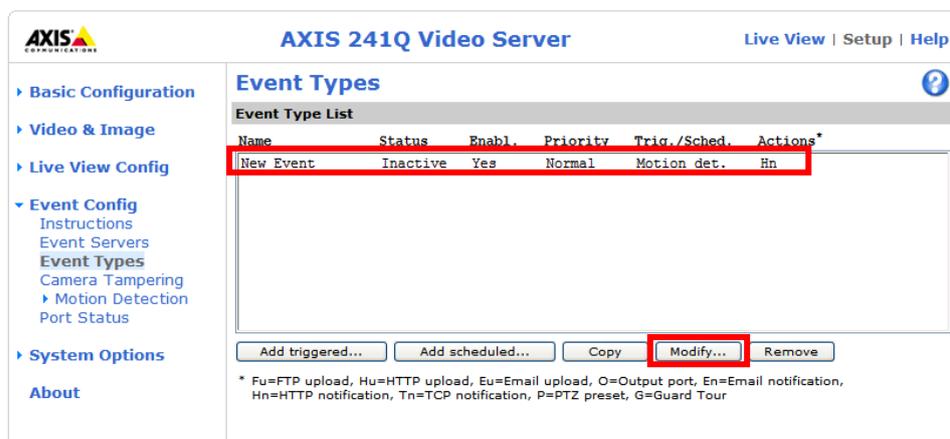
4.カメラサーバのウェブページ上にある「Setup」を選択します。

AXIS 241Q Video Server Live View **Setup** Help

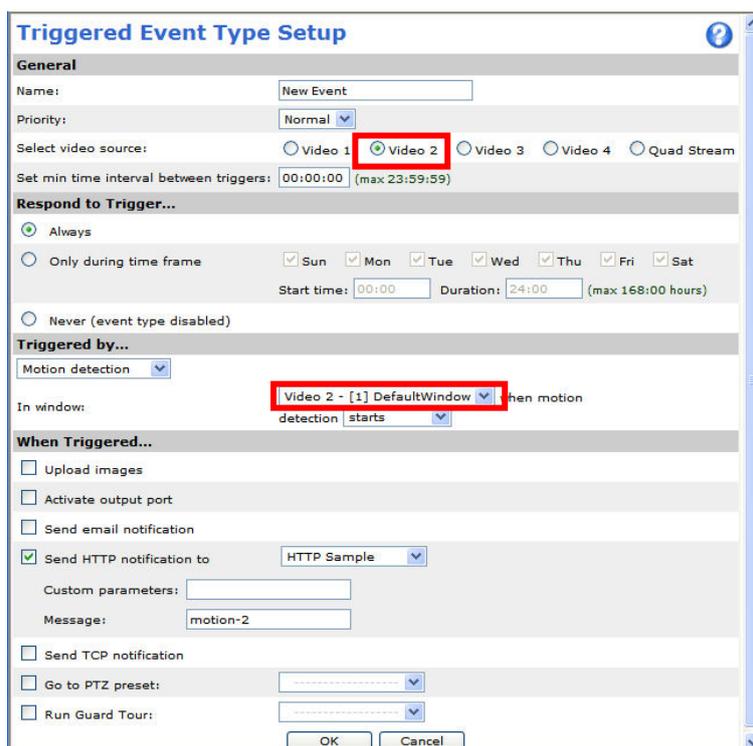
Video format: Motion JPEG Source: Video 2 Go

Playing, Motion JPEG

5.Event Config→Event Types→Event Types List から該当するカメラ項目を選択し、「Modify」をクリックしてください。



6.下記赤枠で囲まれた 2 つの設定項目 (Select video source, Triggered by...) の設定を Video1 から Video2 に変更して「OK」をクリックしてください。



カメラサーバのカメラ 3 および 4 にアナログカメラを接続している場合、同じ手順でビデオ 3、ビデオ 4 の設定を行います。

## スマートフォンによる閲覧

スマートフォンによる NVR へのアクセス方法並びに操作方法

1. お使いのスマートフォンのブラウザから NVR の固定 IP もしくはドメインを入力します。
2. ログイン画面から NVR のユーザー名とパスワードを入力しログインします。
3. 下記画面が表示されます。※下記は iPhone の画面です。
4. Image Size 選択メニュー①からスマートフォン上で表示する画像サイズを選択します。
5. Channel 選択メニュー②から閲覧したいカメラ名を選択します。
6. パンチルト操作は、画面上に表示されているボタン操作で行います。



注：スマートフォンで NVR へアクセスするためには NVR 設置拠点のインターネット回線を提供しているプロバイダーから固定 IP を取得するか、若しくはルーターメカ(またはカメラメカ)が提供する DDNS ドメインサービスのご利用が必要となります。

※ DDNS サービスの一例：Panasonic のみえますねっと(有料)、YAMAHA のネットボランチ(無料)、COREGA のコレガネット(無料)

※下記画面は、カメラ選択リストと画像更新間隔選択画面です。



### スマートフォン閲覧の基本仕様

項目	内容
ライブ表示間隔	5秒に1枚、毎秒
表示カメラ台数	1台
対応スマートフォン	iPhone(アイフォン)、Android(アンドロイド)、Windows Mobile
対応ブラウザ	Safari(サファリ) IE Mobile

## iGuardNVRViewer の使用方法

iPhone に「iGuardNVRViewer」をインストールします。

iGuardNVRViewer をインストール後、アイコンをタップしてアプリを起動します。



### 1 NVR 登録

サーバ(NVR)リストが表示されますので、画面右上のアイコンをタップします。

画面下部にメニューが表示されますので、「検索」をタップします。



NVR の IP アドレス及びログイン情報を入力して、画面右上アイコンをタップします。

「保存」をタップして、入力した NVR の情報を登録します。

自動ログインをオンに設定すると、次回ログイン時からユーザー名、パスワードの入力が不要となります。



NVR リストには、登録した NVR が下図のように表示されます。

リストから NVR をタップするとタップした NVR にログインします。

画面下部の「編集」をタップすると削除アイコンが表示されます。



## 2 ライブ画面機能、録画再生

登録した NVR にログインすると、登録されているカメラがリストに表示されます。  
 カメラアイコンをタップすると、選択したカメラのライブ映像が表示されます。  
 ライブ画面右下のアイコンをタップすると現在表示している映像のスナップショットが取得  
 できます。



ライブ画面右上をタップすると下図のメニューが表示されます。  
 メニューをタップすると各機能が実行できます。

- ・比率を固定→映像を引き伸ばして画面一杯に表示します。
- ・音声→ライブ音声再生されます。音声再生中はアイコンが表示されます。
- ・録画再生→録画データ検索画面に移動します。

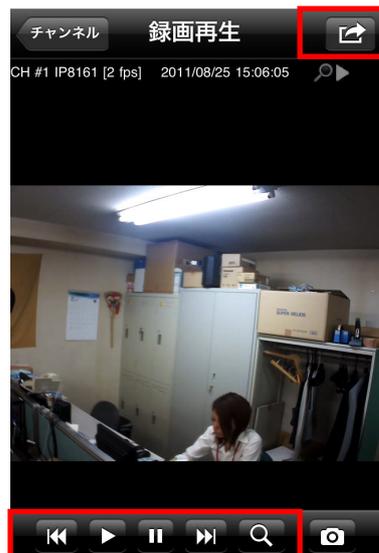


録画データ検索画面では「選択期間」から検索したい年月を選択します。

録画データがある場合、日付の背景が濃灰色で表示されますので、録画データを確認したい日付をタップします。

日→時間→分→秒とタッチしていくと録画データが再生されます。

ライブ画面下のコントロールパネルで映像の早送り、巻戻し、再生、一時停止、映像の再検索、スナップショットが行えます。



ライブ画面と同様に、録画映像再生画面でも画面右上をタップすると、メニューが表示され各機能が実行できます。

- ・比率を固定→映像を引き伸ばして画面一杯に表示します。※前頁参考
- ・音声→録音音声再生されます。音声再生中はアイコンが表示されます。
- ・ライブ→現在映像を再生しているカメラのライブ画面へ移動します。



カメラリスト画面右上の「イベント」をタップするとイベント検索ができます。

画面下部に表示されるメニューから「検索」をタップするとイベントを検索するカメラの選択リストと検索開始日時の指定画面が表示されます。

「最新イベント」をタップすると最新のイベントリストが表示されます。



開始日時をタップすると日付と時間の選択メニューが表示されますので、検索したい日時を選択します。

カメラをタップすると選択したカメラの検索対象／対象外の選択が出来ます。(検索対象のカメラはチェックアイコンが表示されます)

開始日時とカメラ選択後に画面右上の「完了」をタップするとイベントの検索結果が表示されます。

録画映像を確認したいイベントをタップすると選択したイベントの録画映像が表示されます。

